

♥ 寝取り魔使いの目録

原作…
まじかり
(ホリス文庫/KADOKAWA)

漫画…
糸杉 桓宏

キャラクター原案…
まくわうに

4



Netori! If ahouzukai na Bouken



Cover Design: Atsushi Yamashita

DL-Raw.Se



寝取り魔法使いの冒険

げん さく 原作 まじかり
(オシリス文庫/KADOKAWA)

まん が 漫画 糸杉 証宏
いと すぎ まさ ひろ

キャラクター原案
げん あん まくわうに

4

の冒険

火を吹く巨大なトカゲの魔物(劣竜)を討伐するために
 荒野の町のギルドを訪れた(駆ける狼)メンバーは、
 シンジの元パーティメンバー・エミリーと鉢合わせて…!?
 また、アカネの男性恐怖症を克服させたいレンカは、
 アカネと接触済みのシンジにサポートをお願いして…!?

あ

ら

す

じ



シャルロッタ

やどや ひそ もぐらてい かんばんむすめ
 宿屋〈潜む土竜亭〉の看板娘。
 こいびと 恋入・モースがいるにも関わらず、
 シンジと肉体関係を持っている。



アカネ

どうきょう おんなぼうけんしゃ
 レンカと同郷の女冒険者。
 こ おに む おか
 小鬼の群れに犯されてしまったが、
 〈駆ける狼〉に助けられた。



エミリー

もと
 シンジの元パーティメンバー。
 なみはず せんとうりやく も せん し しょう
 並外れた戦闘力を持つ戦士(処女)。
 きつずい
 生粋のトラブルメーカー!?



レンカ

か おおみ しよぞく せつこうけんしゃしゅ
 〈駆ける狼〉所属の斥候兼射手。
 せきにんかん つよ か き せいかく
 責任感が強く勝ち気な性格。
 おさな な じみ
 アルヴィン、ミーリスとは幼馴染。

寝取り魔法使い

人物紹介

シンジ

〈駆ける狼〉新入りの魔法使い。
他人の女を寝取り堕とすことに
堪らなく興奮する本作の主人公。

フレイリ

シンジの精霊。

〈駆ける狼〉

アルヴィン

〈駆ける狼〉リーダーの剣士。
良い意味で大雑把な性格。
恋人・ミーリスを大事にしている。

ミーリス

〈駆ける狼〉所属のヒーラー。
穏やかで控えめな性格。
恋人・アルヴィンを頼りにしている。

寝取り魔法使いの冒険目録



目次

第15話

レンカのお願いとシンジのお願い...005

第16話

暴走レンカとアカネの療養...037

第17話

続・暴走レンカとアカネの療養...069

第18話

エミリーと挑む劣竜の巢...107

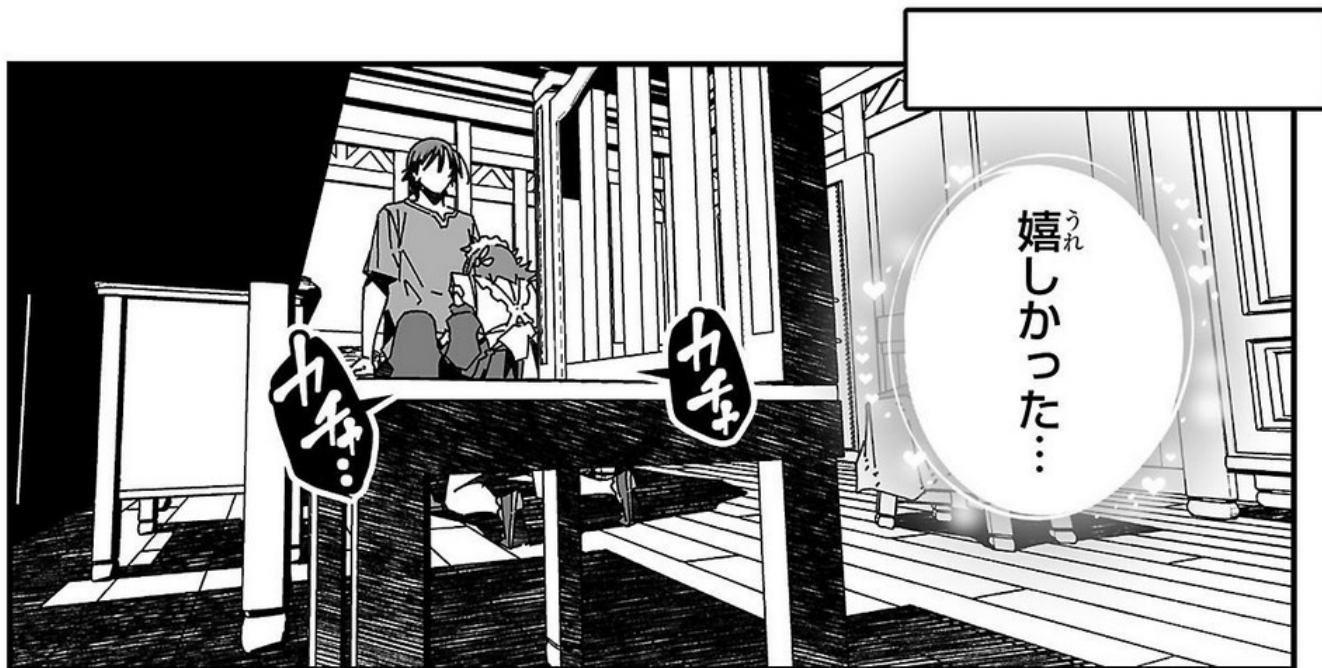
書き下ろし小説・番外編

親友と共に抱かれた後日談...143

※この作品はフィクションであり、
実在の個人、団体等には
いっさい関係ありません。



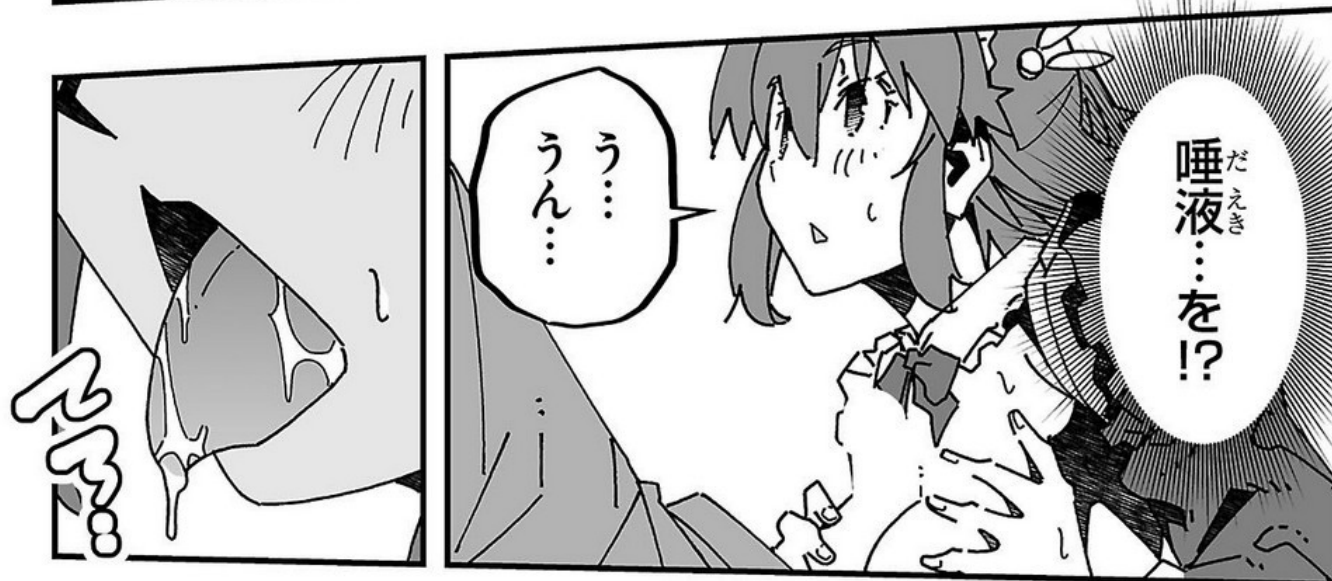
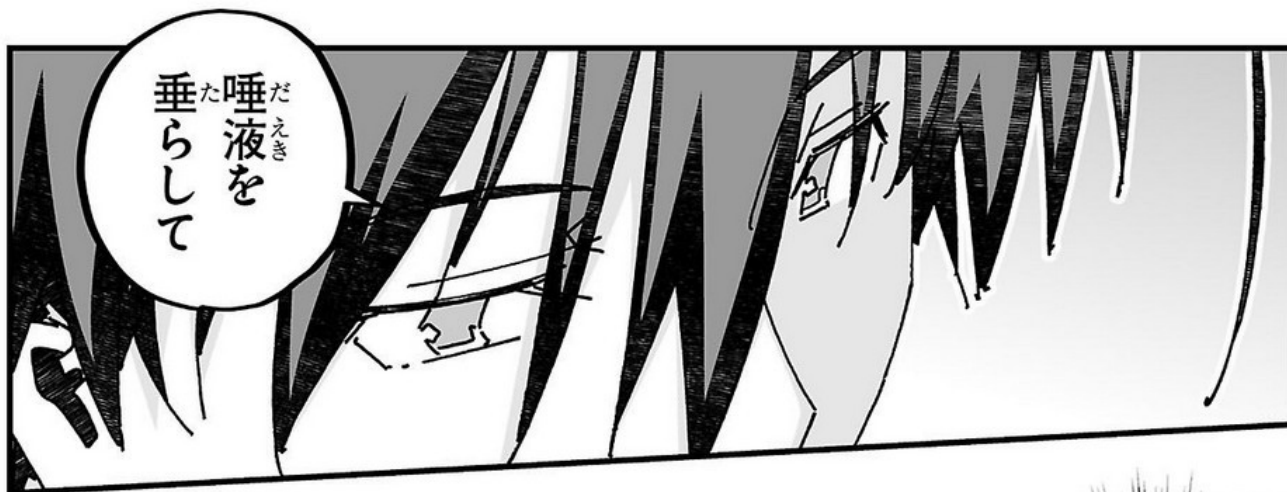








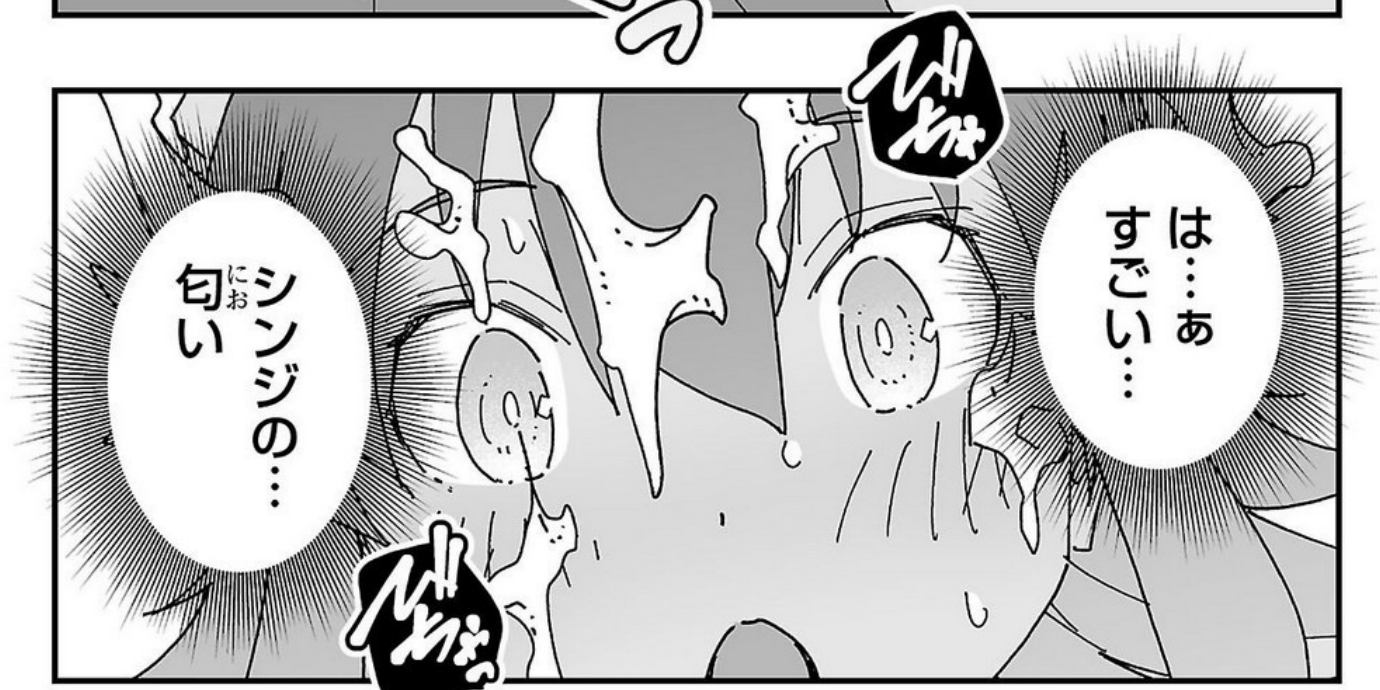




























わ…
わたし
私も…

イ…ウ…ウ…ウ…!!

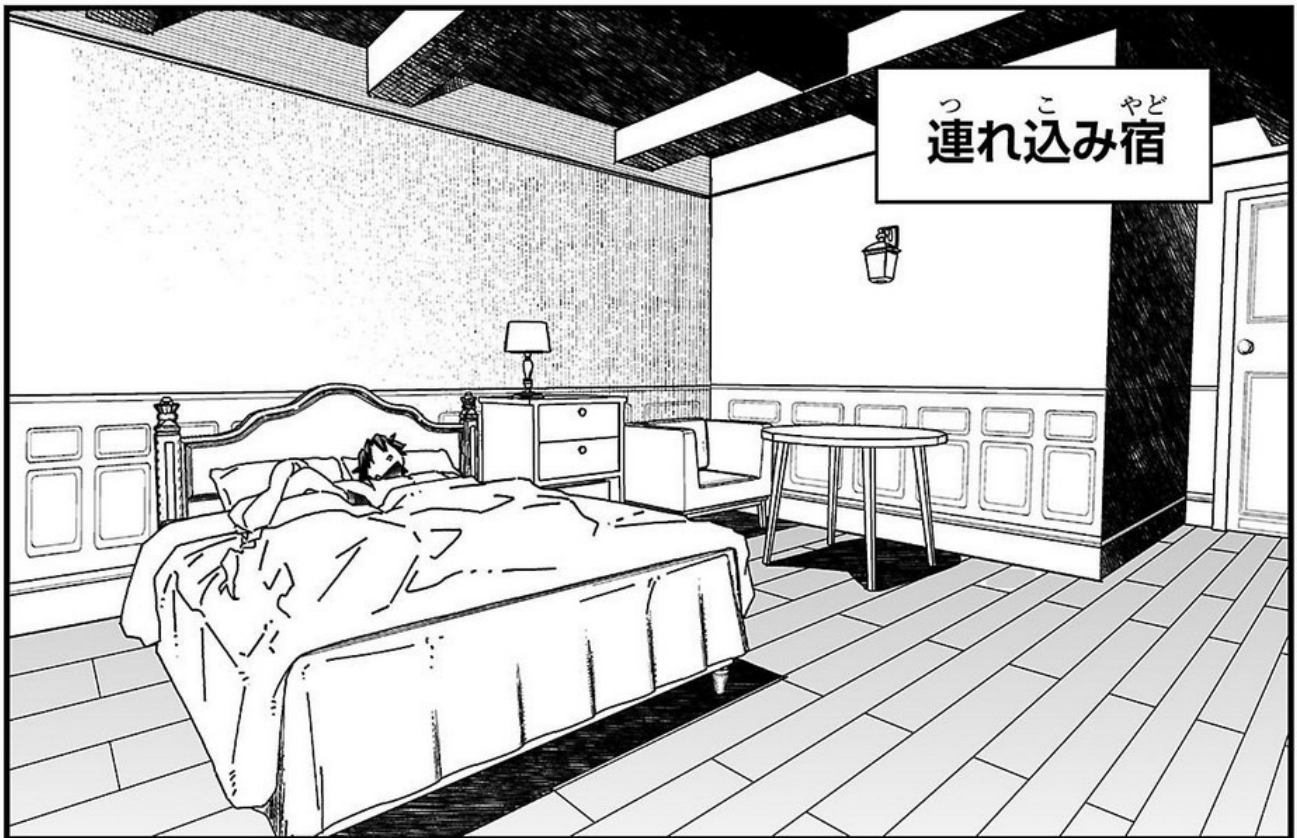
ちつないしゃせい
膣内射精つ
きもち
気持ちいい…!!

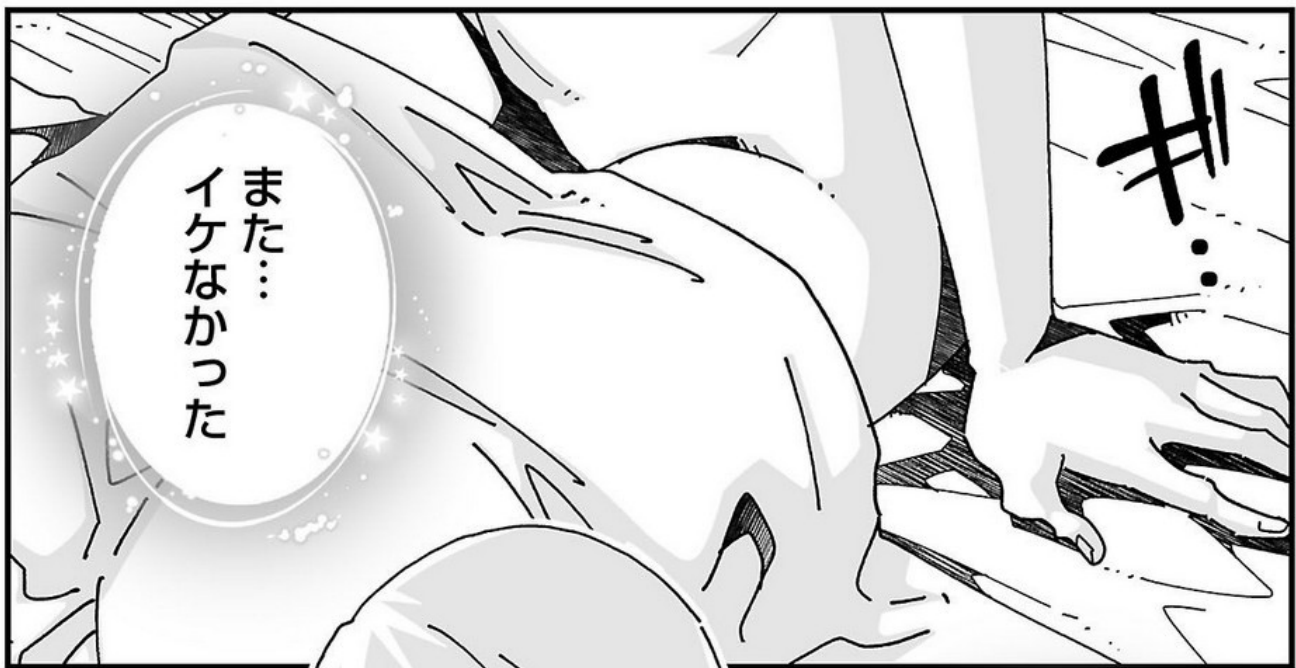
んは…♡

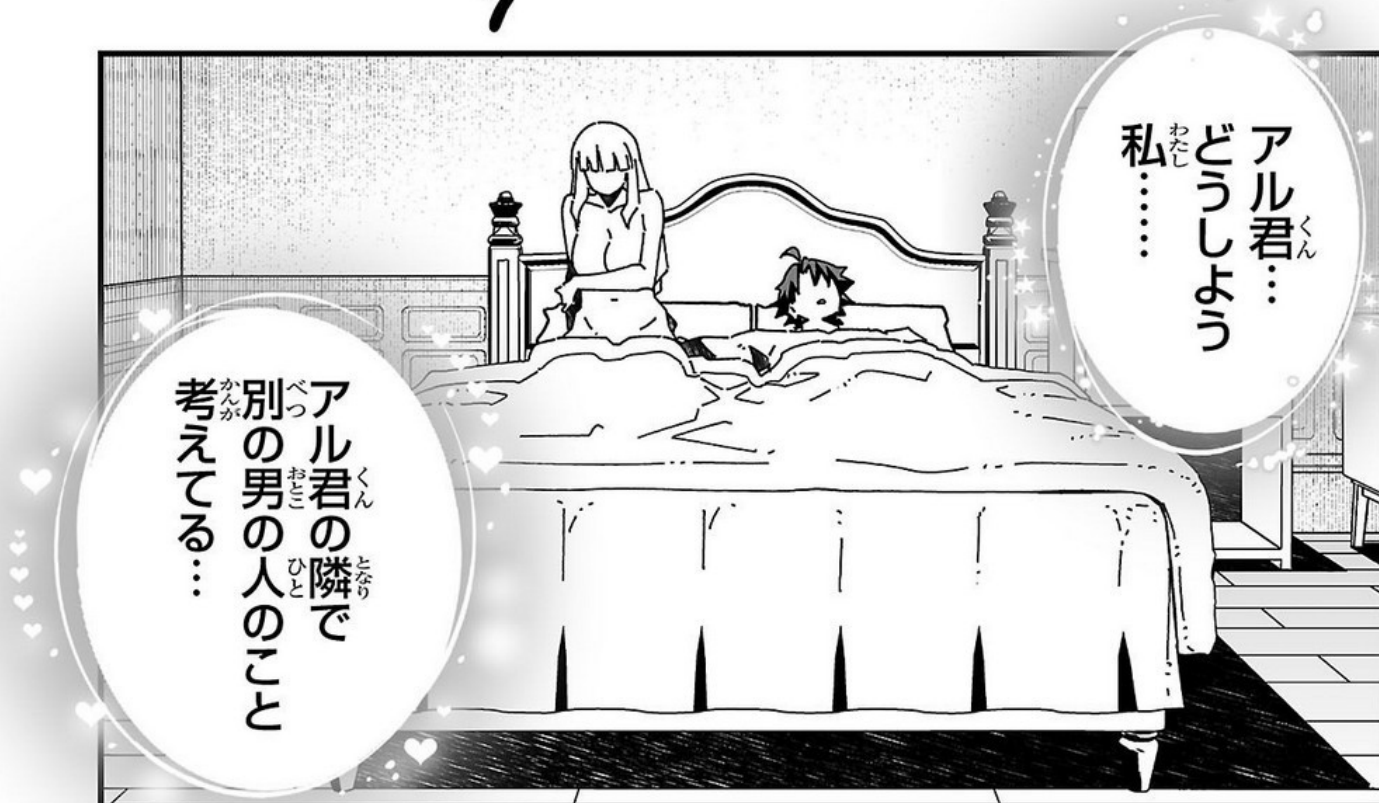
はっ…♡

なかだ
中出し
されながら
ぜっちょう
絶頂…っ!!



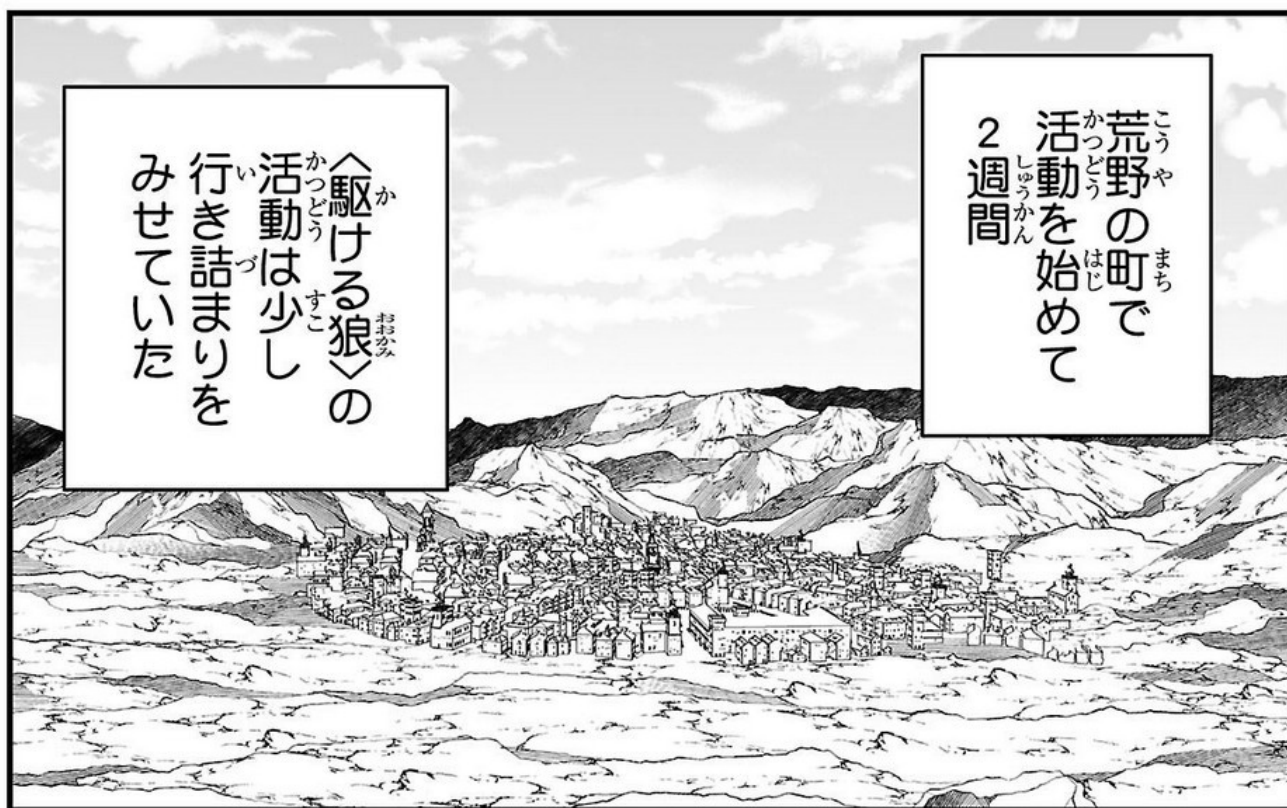












へ駆ける狼の
活動は少し
行き詰まりを
みせていた

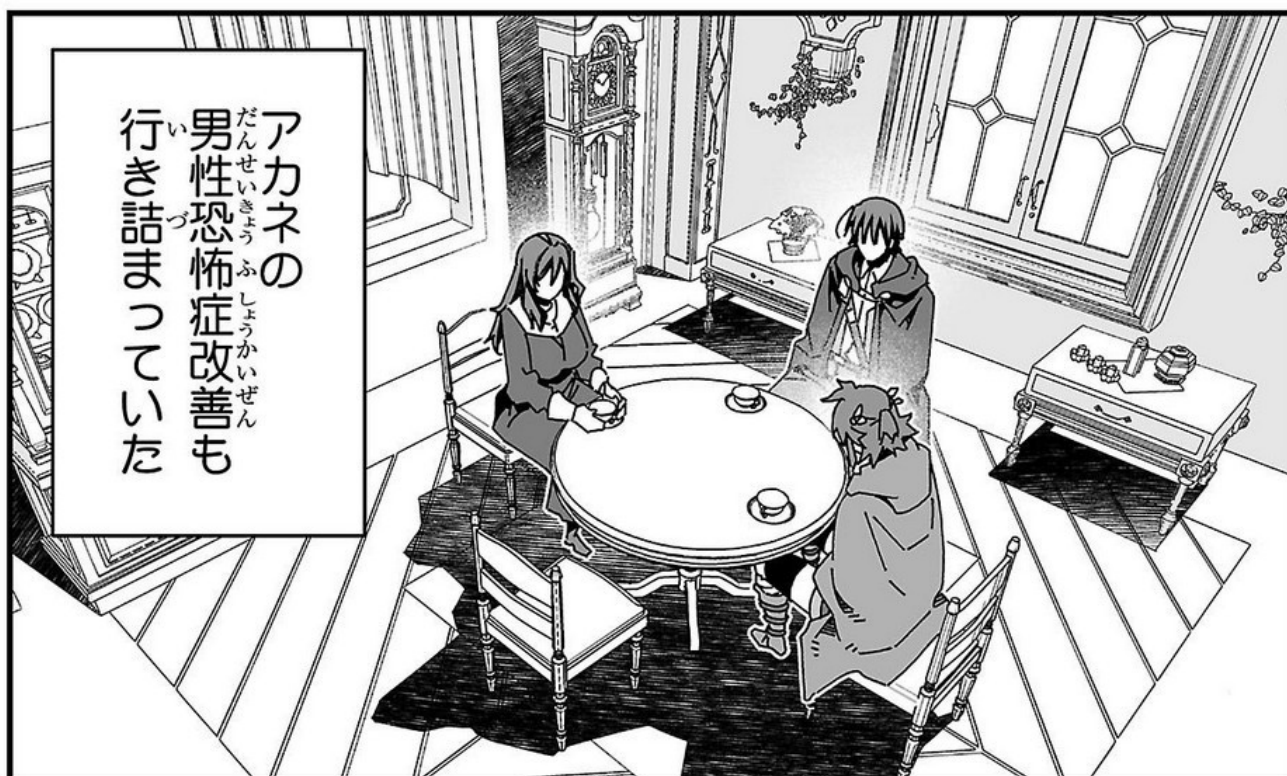
荒野の町で
活動を始めて
2週間

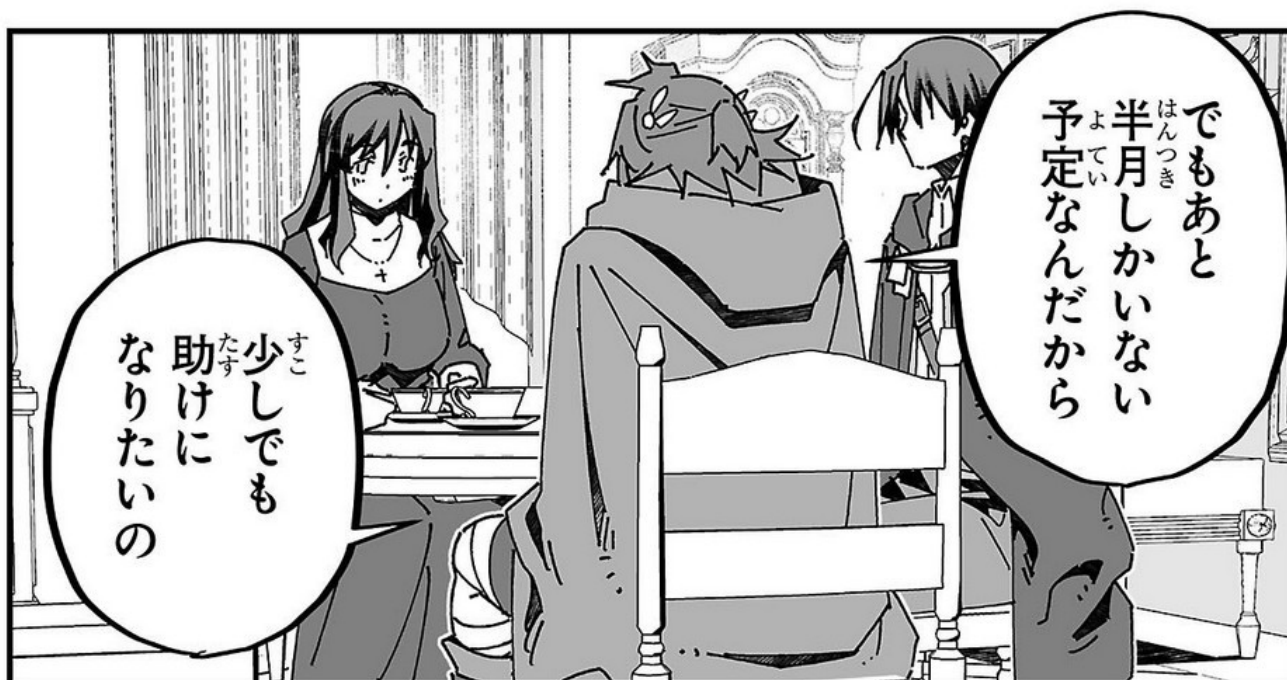


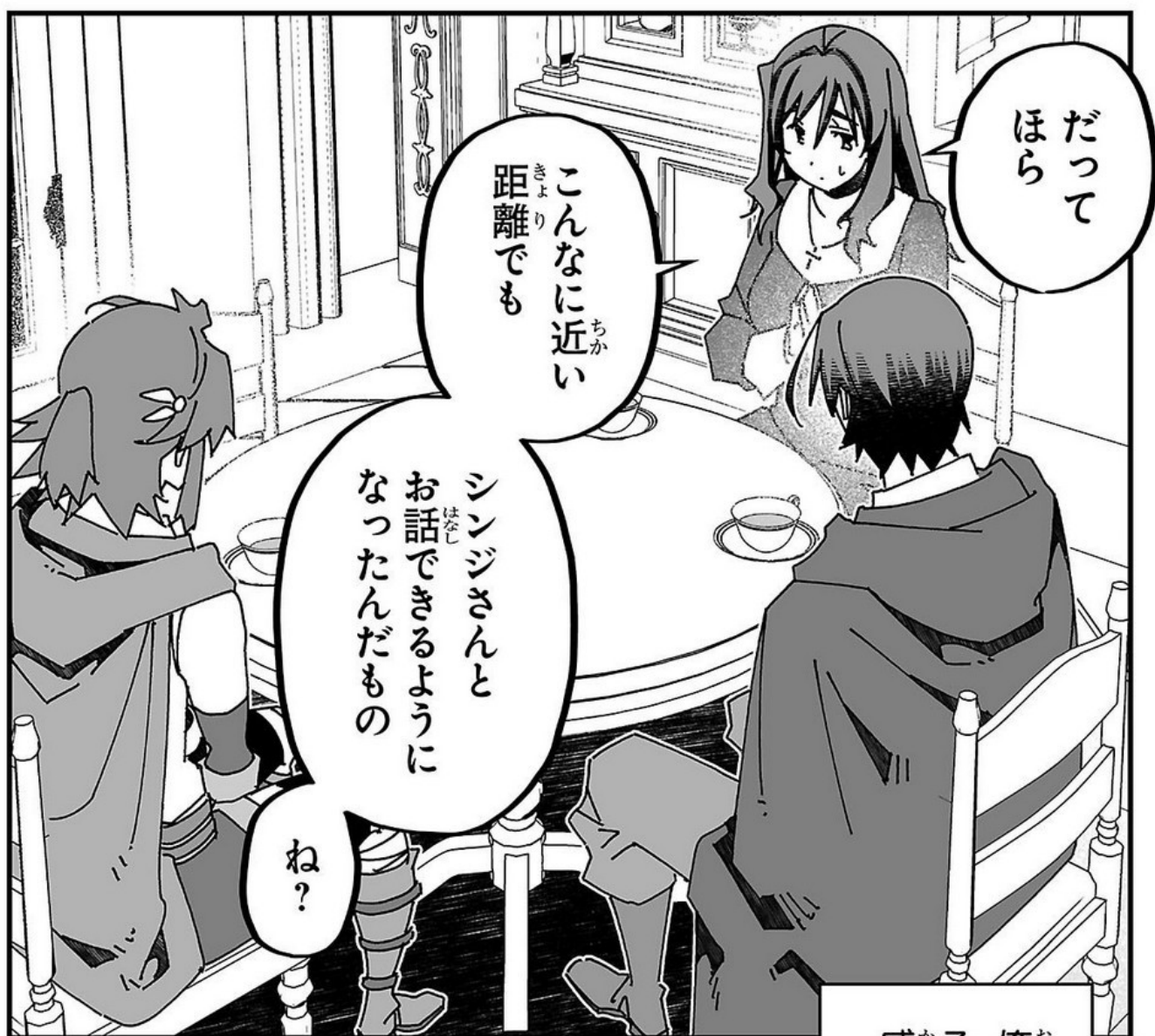
荒野の環境に
慣れることは
できたが

肝心のへ劣竜が
見つからないのだ



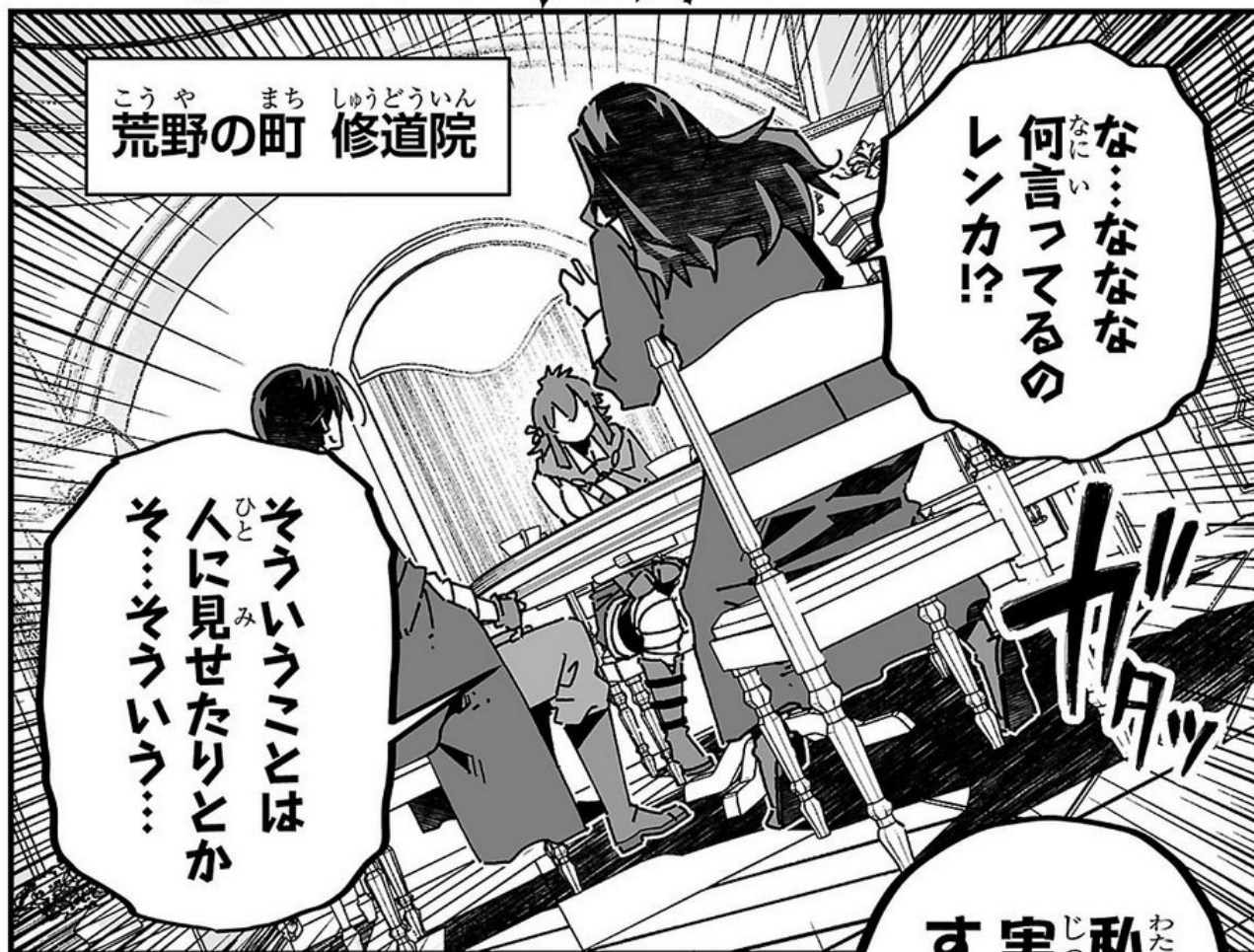


























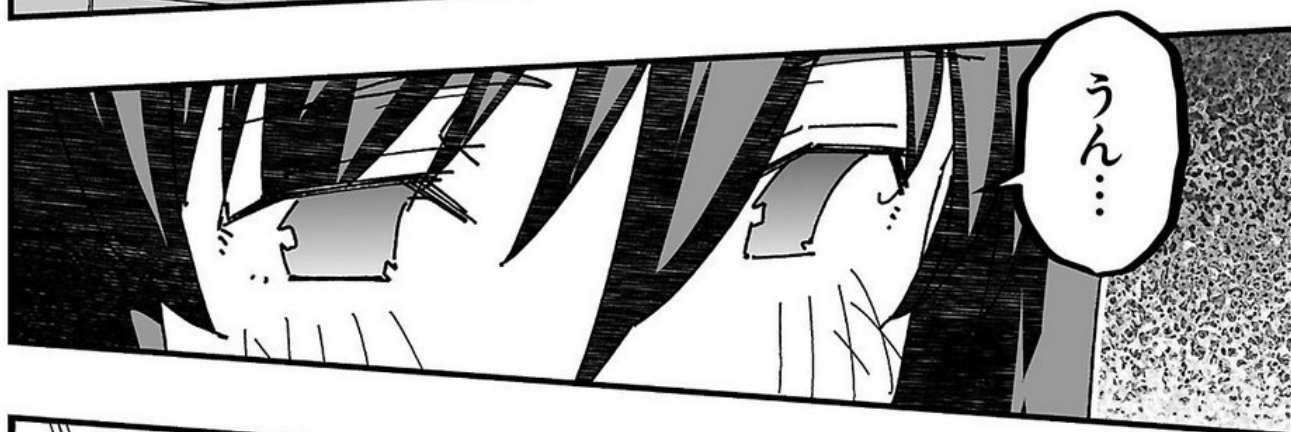
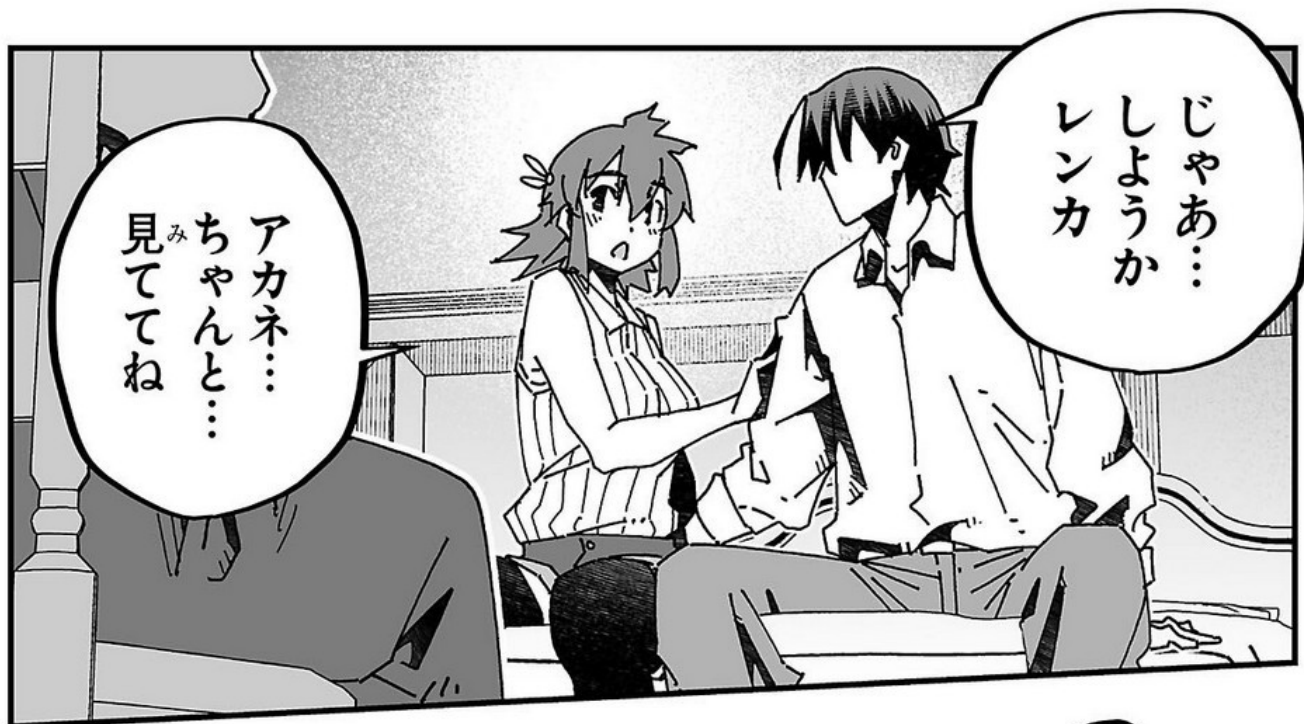






つこやどいっしつ
連れ込み宿の一室





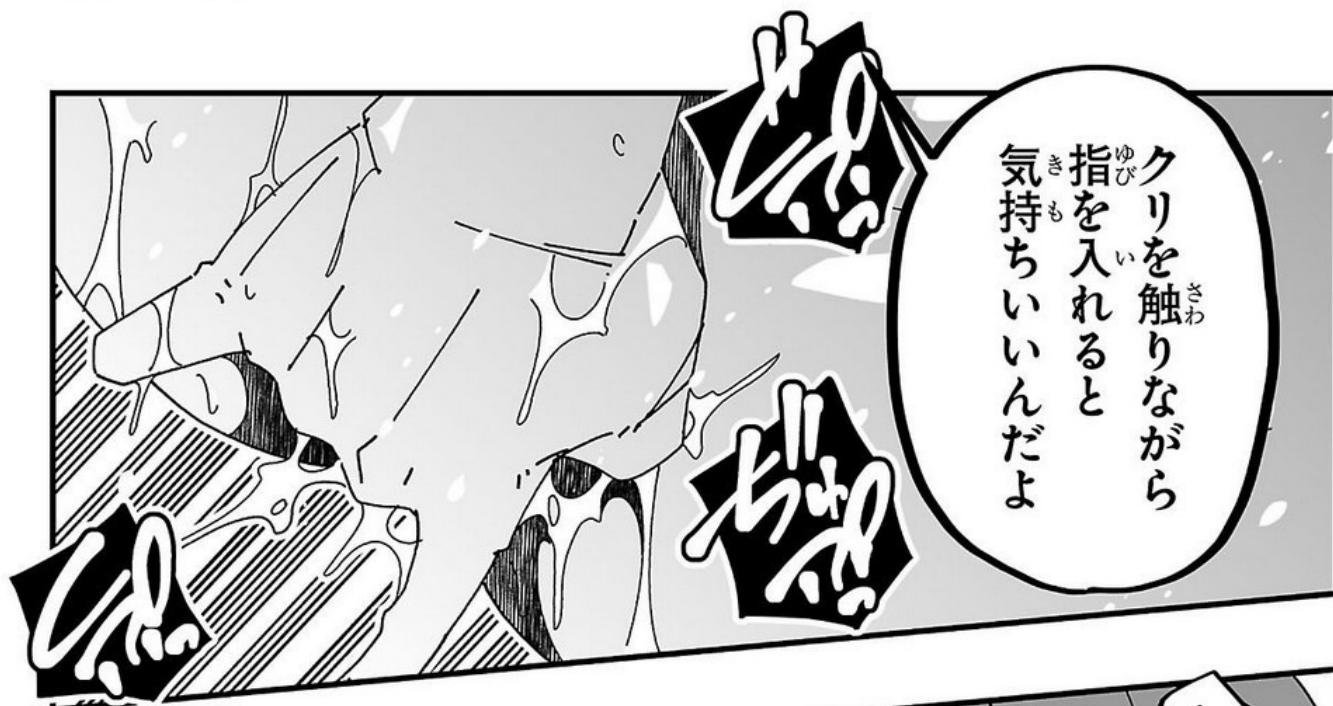








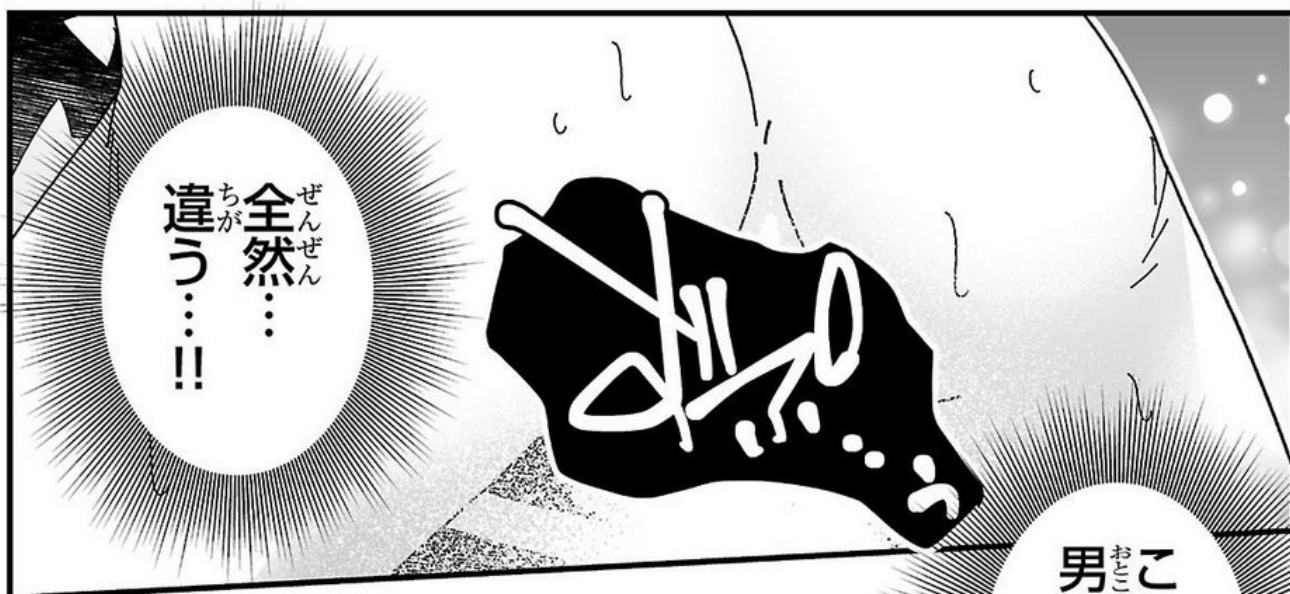


















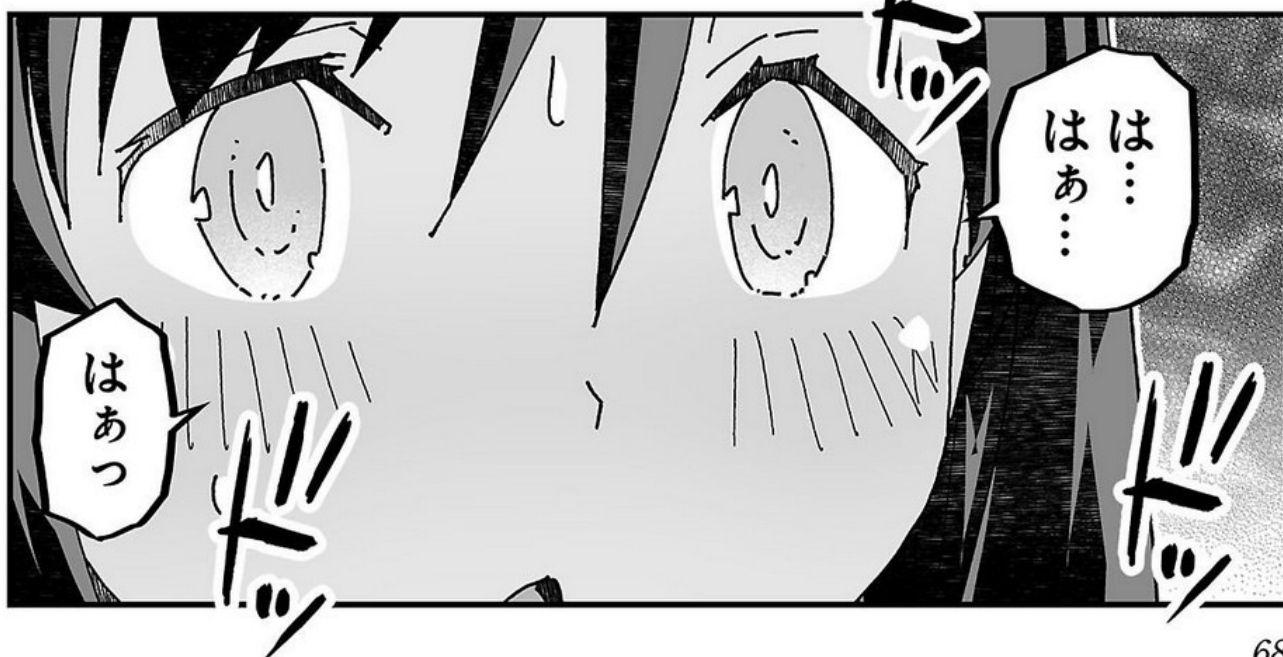








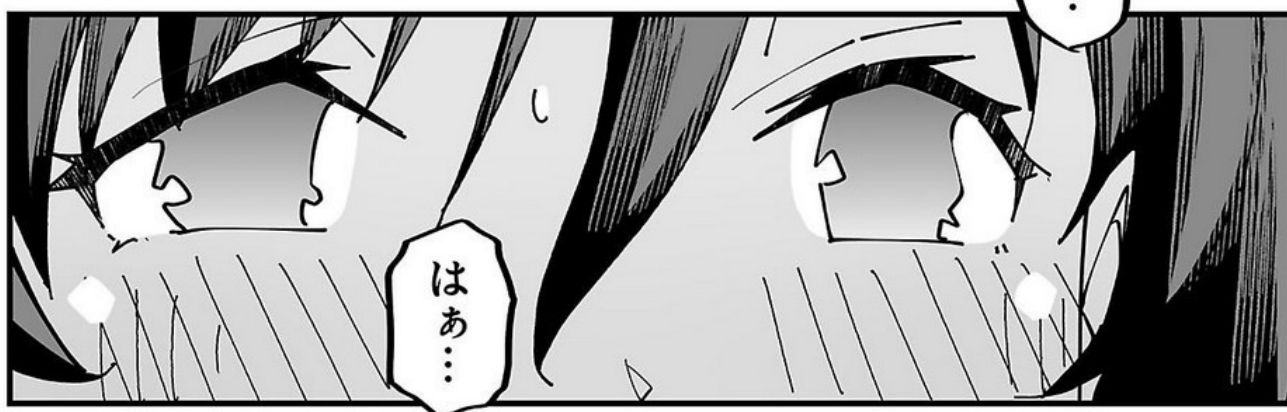




第17話 続・暴走レンカとアカネの療養















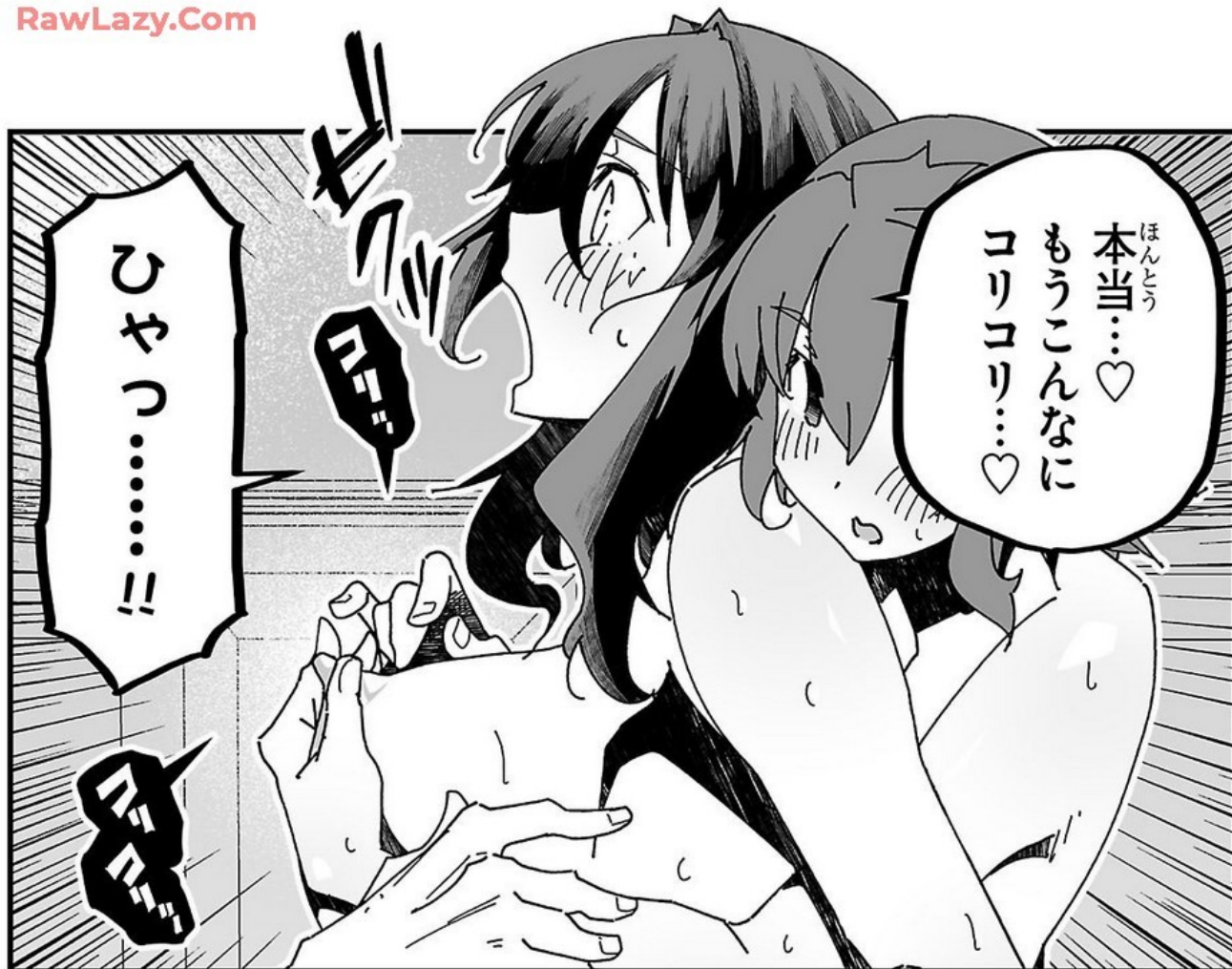


















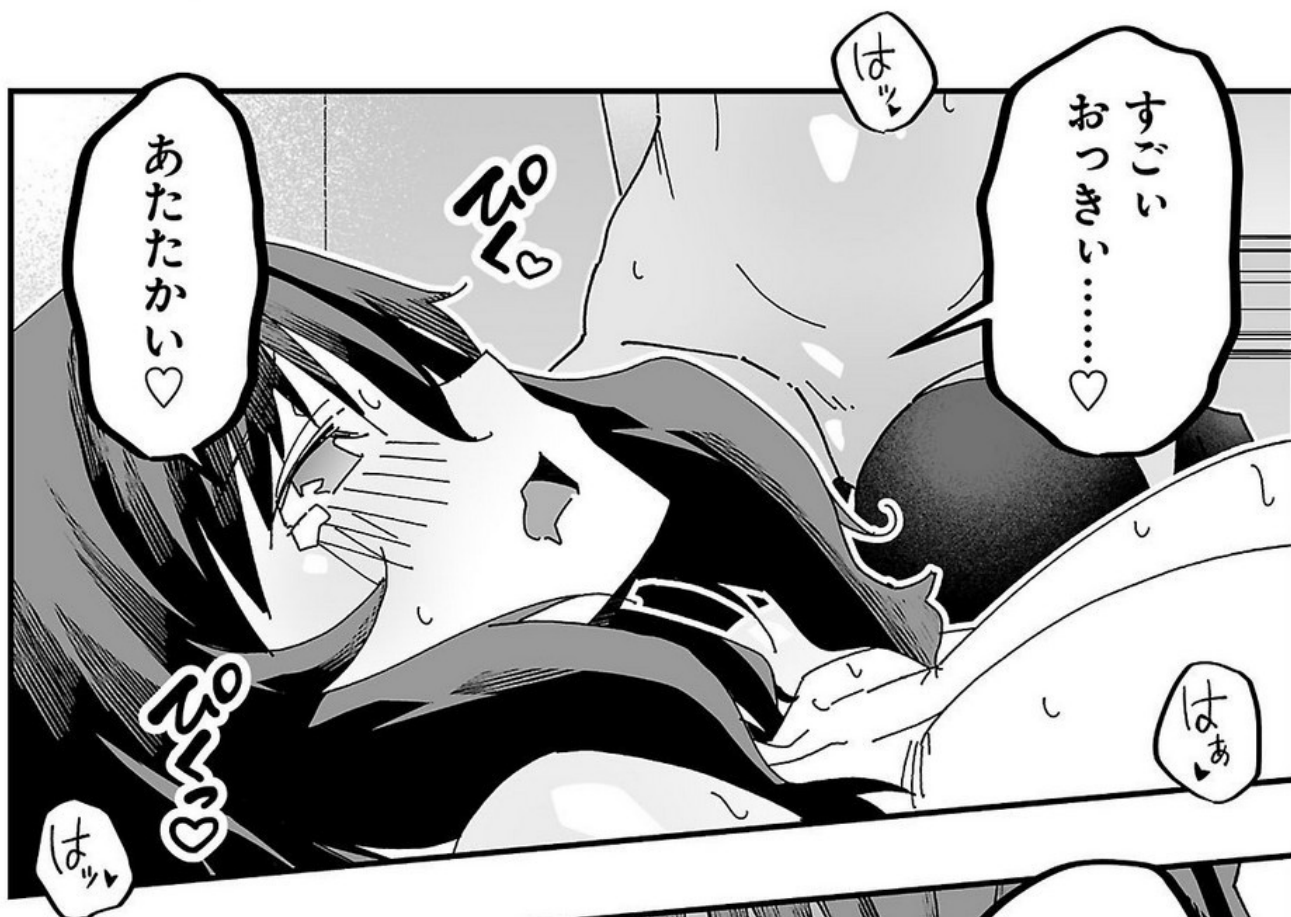
















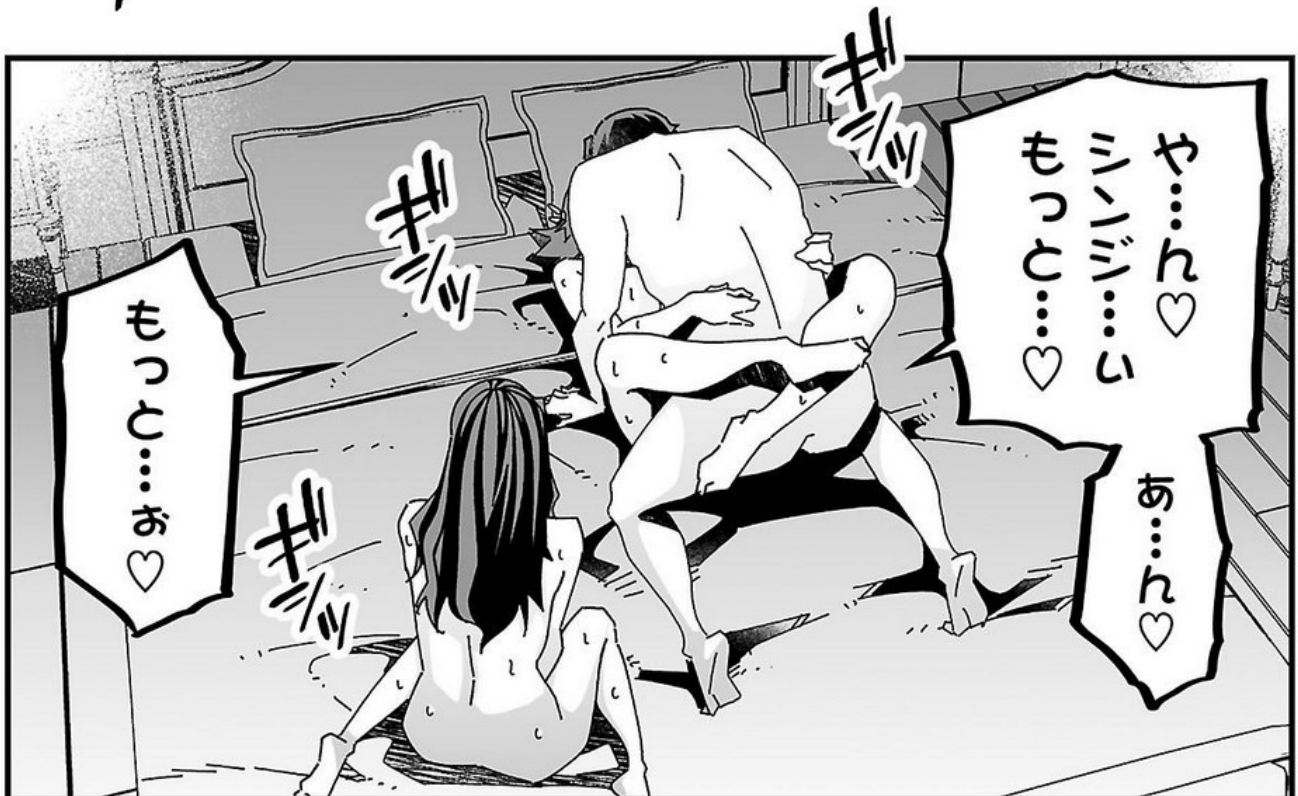




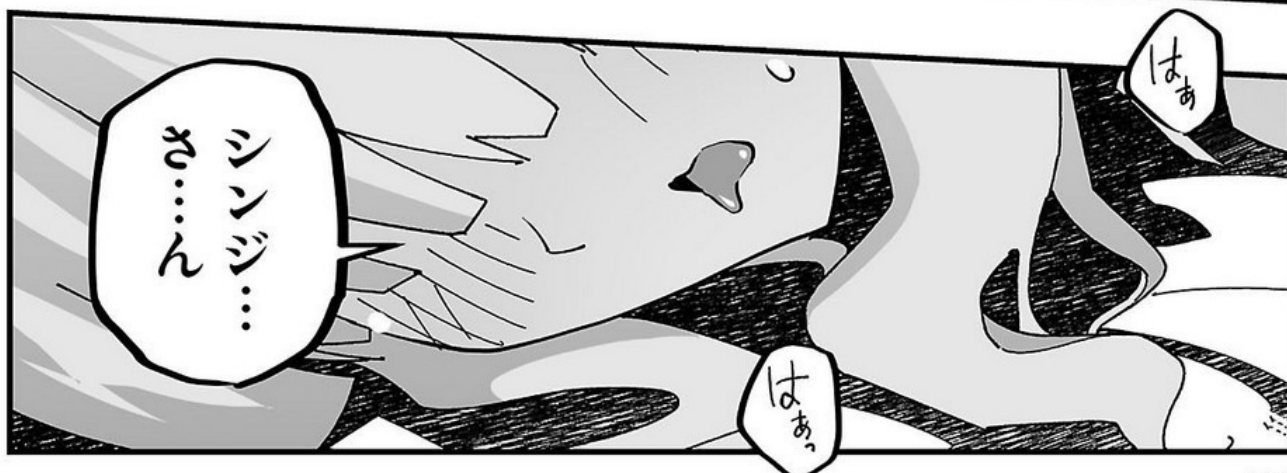
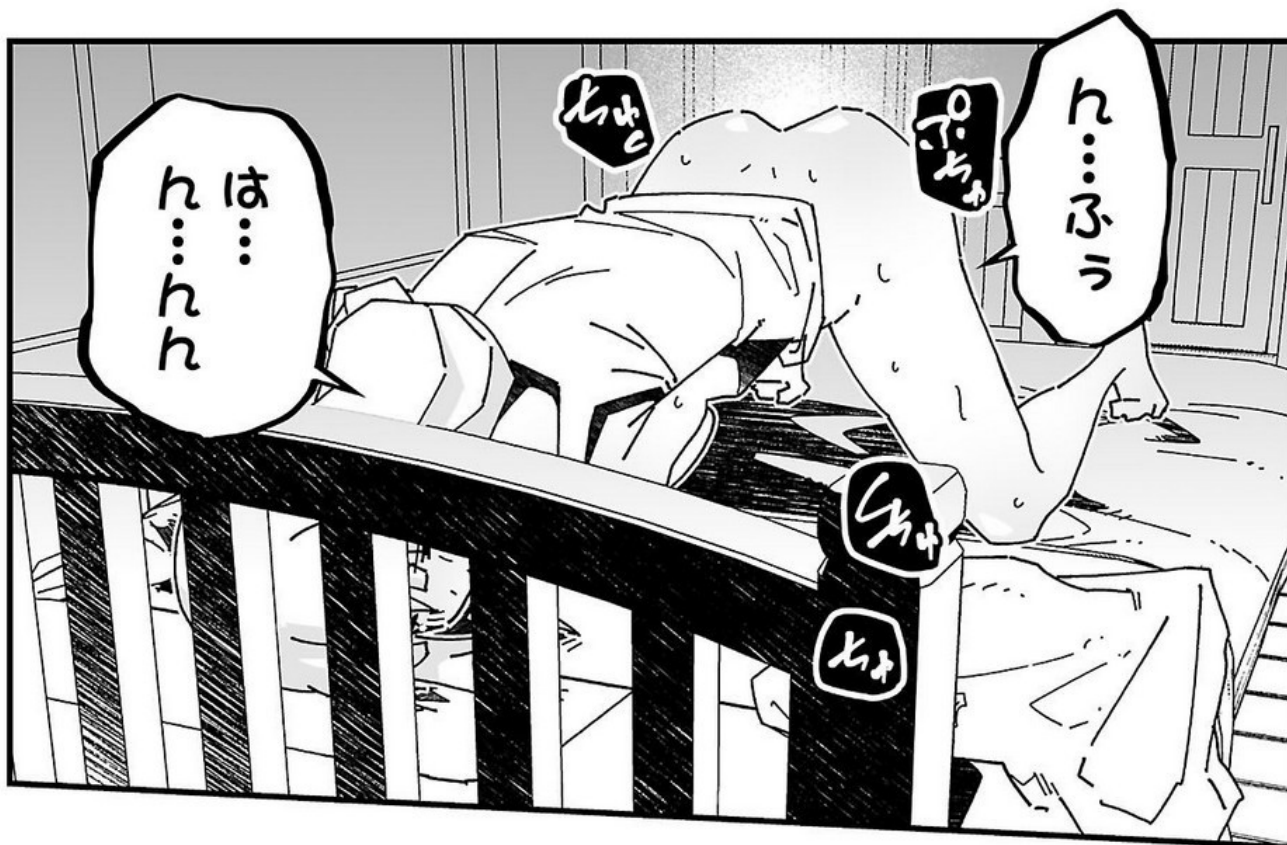
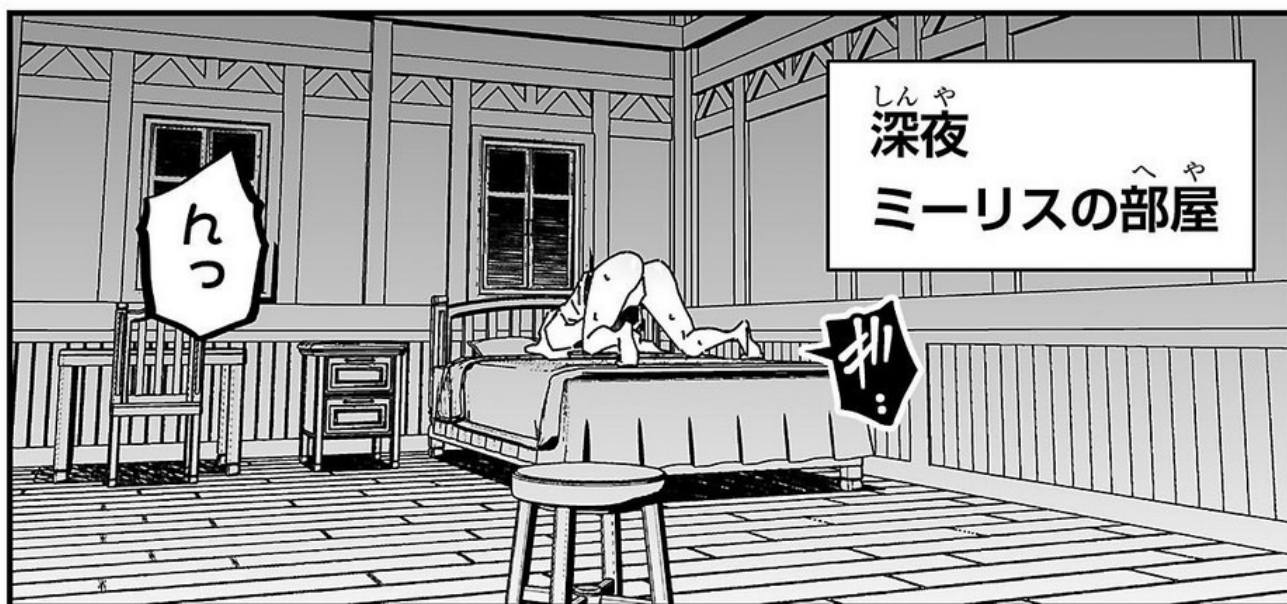




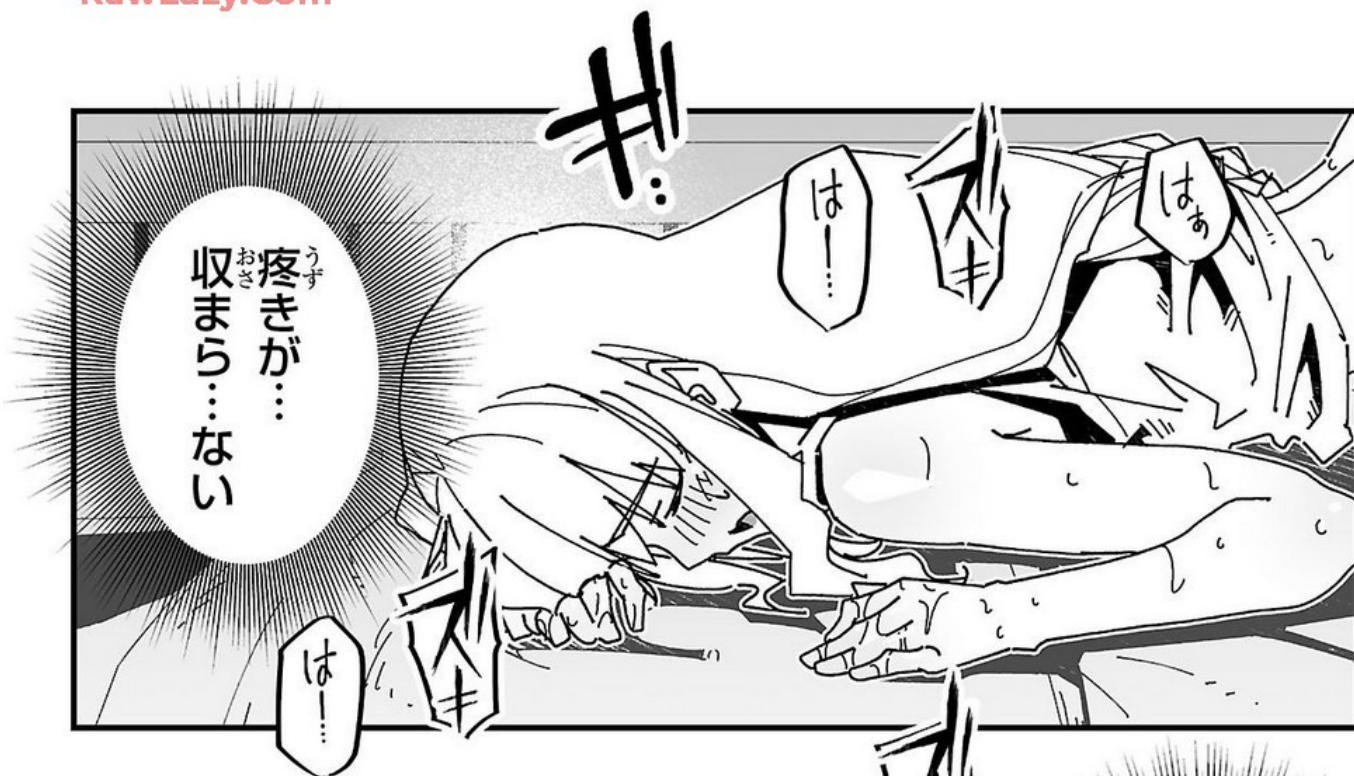
















寝取り
魔法使いの
冒険
4

寝取り
魔法使いの
冒険
4
DL-Raw.Se





























ふつか 2日後
れつりゅう 2日後
せんめつさくせん 2日後
やえいち 2日後
殲滅作戦 野營地



へ劣竜を
れつりゅう
たお
倒したいがー!!

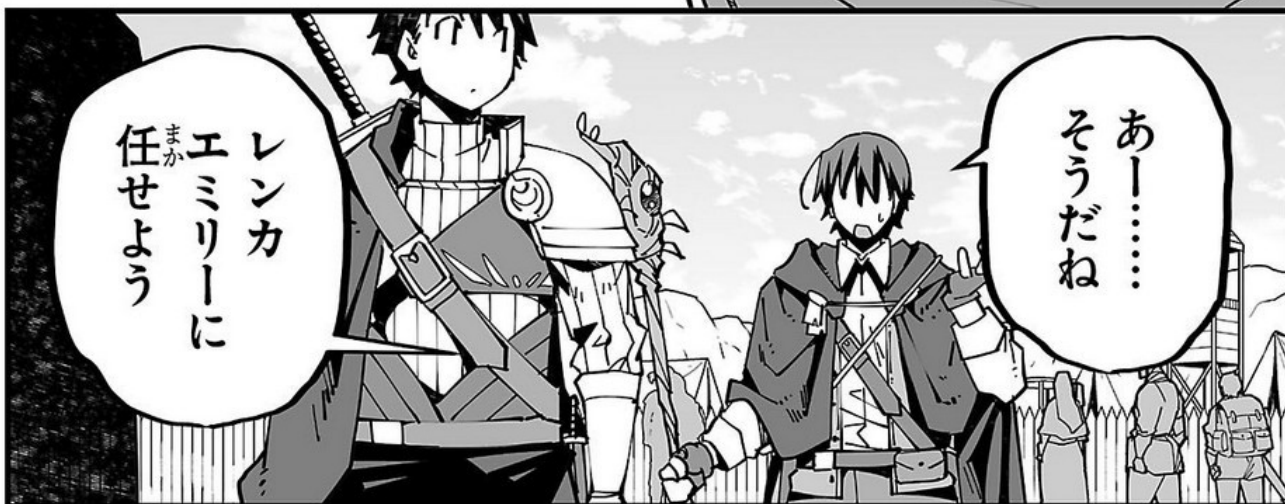






す
巢までの
まもの
魔物は適当に
たお
倒していい?

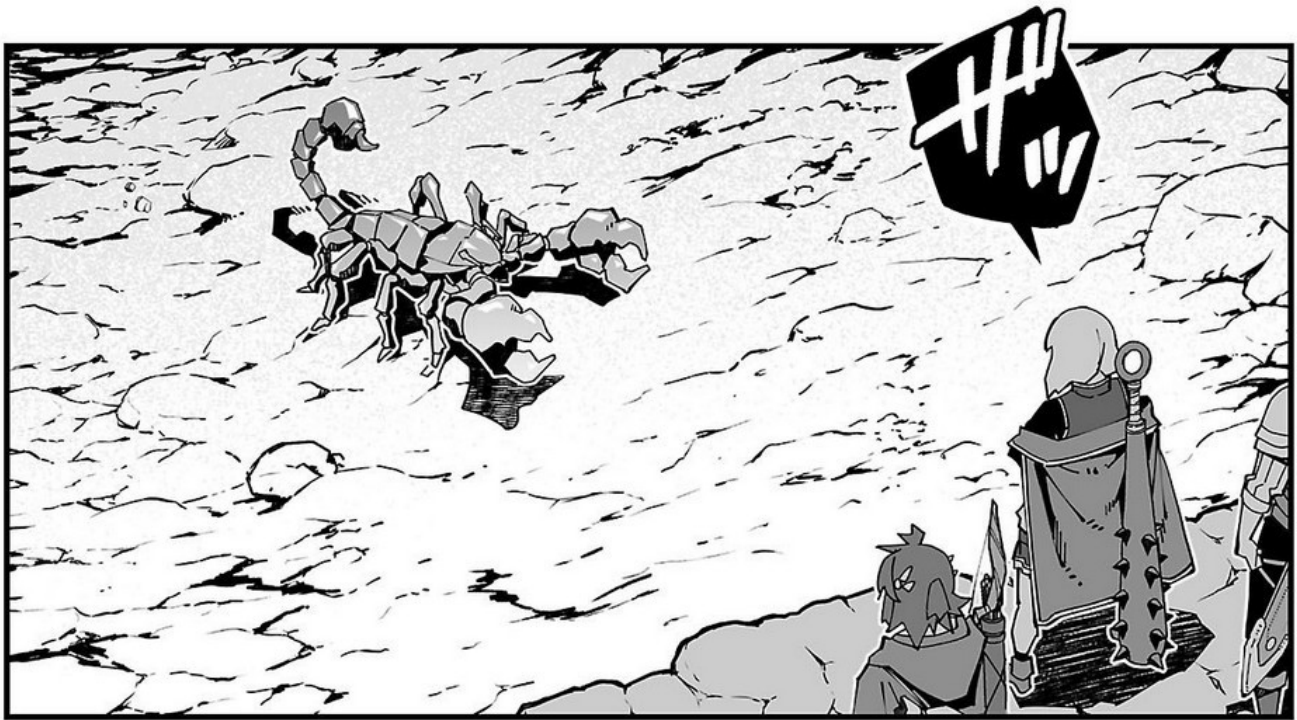
斥候の
拒絶を...

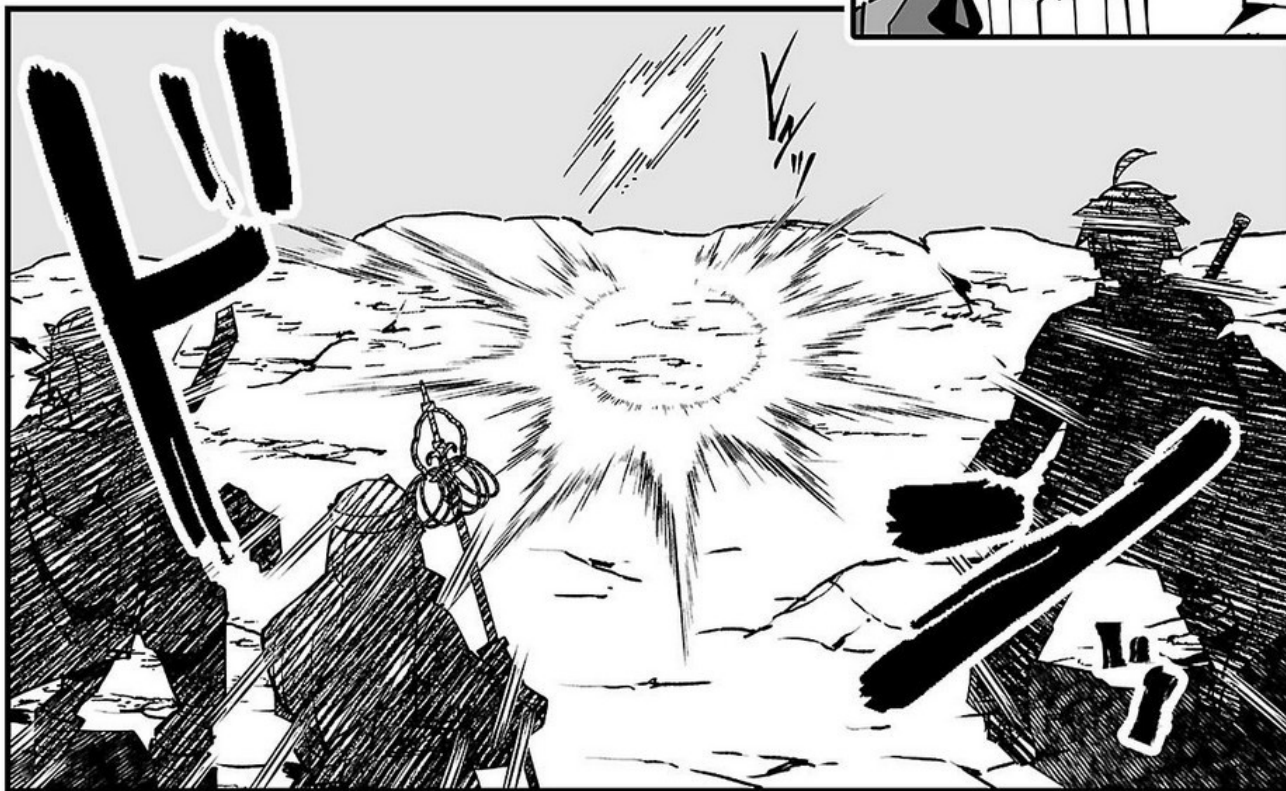


レンカ
エミリーに
任せよう

あー...
そうだね



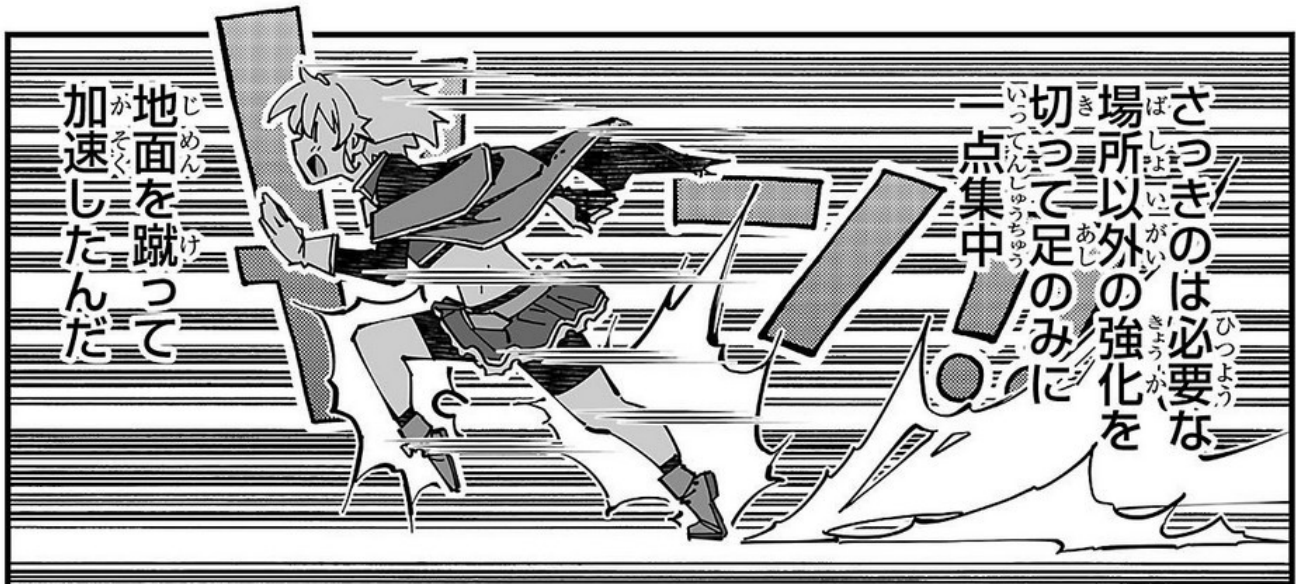








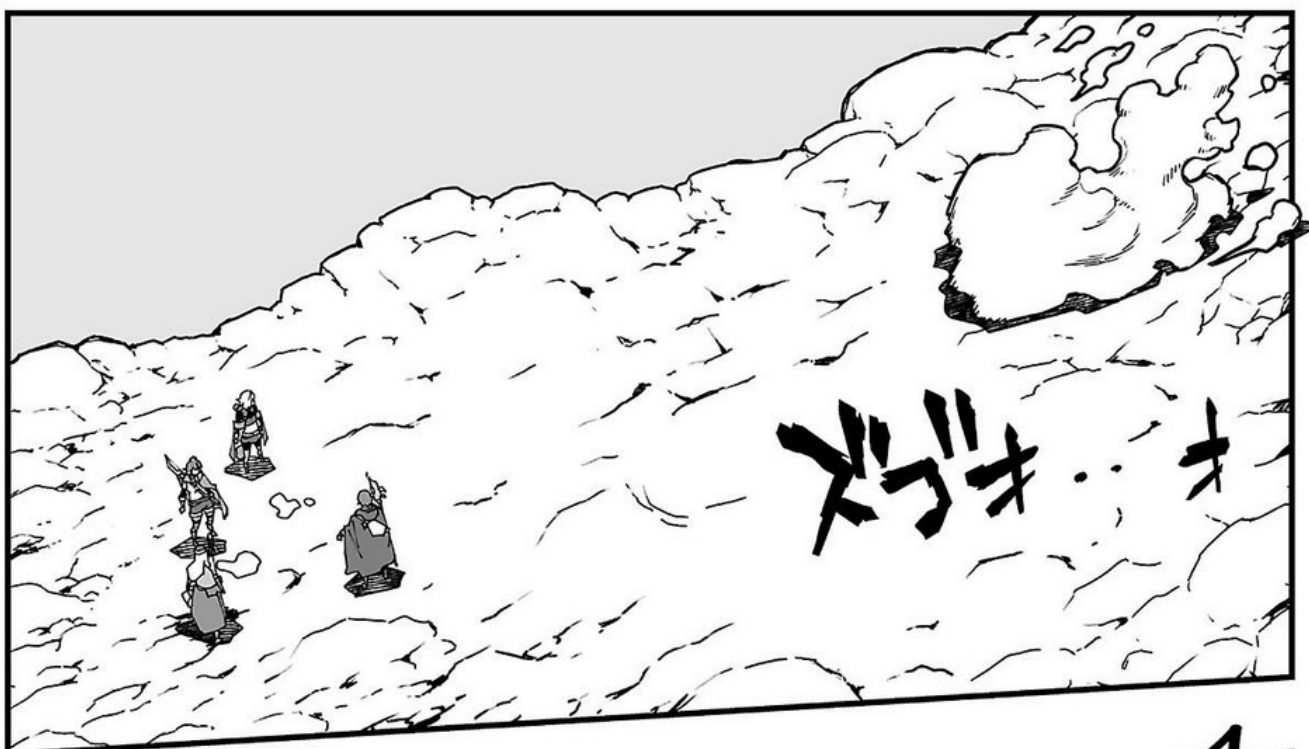




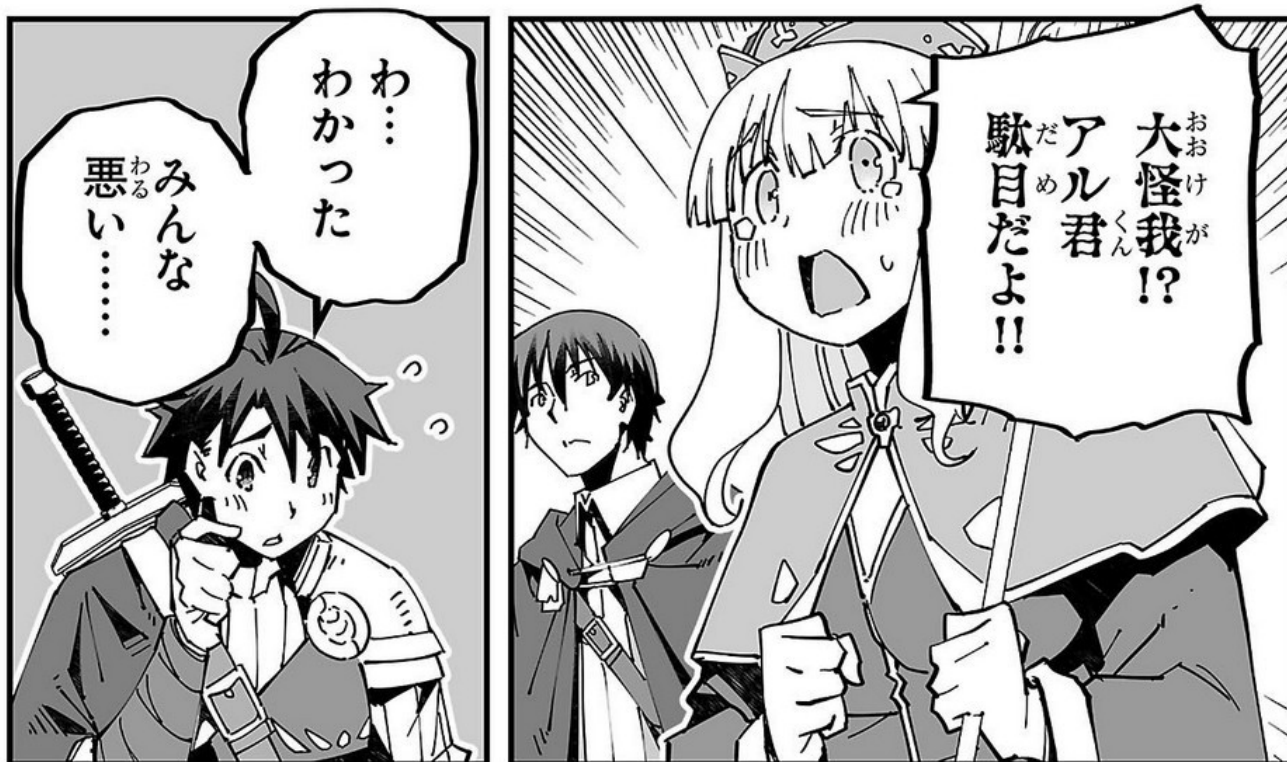


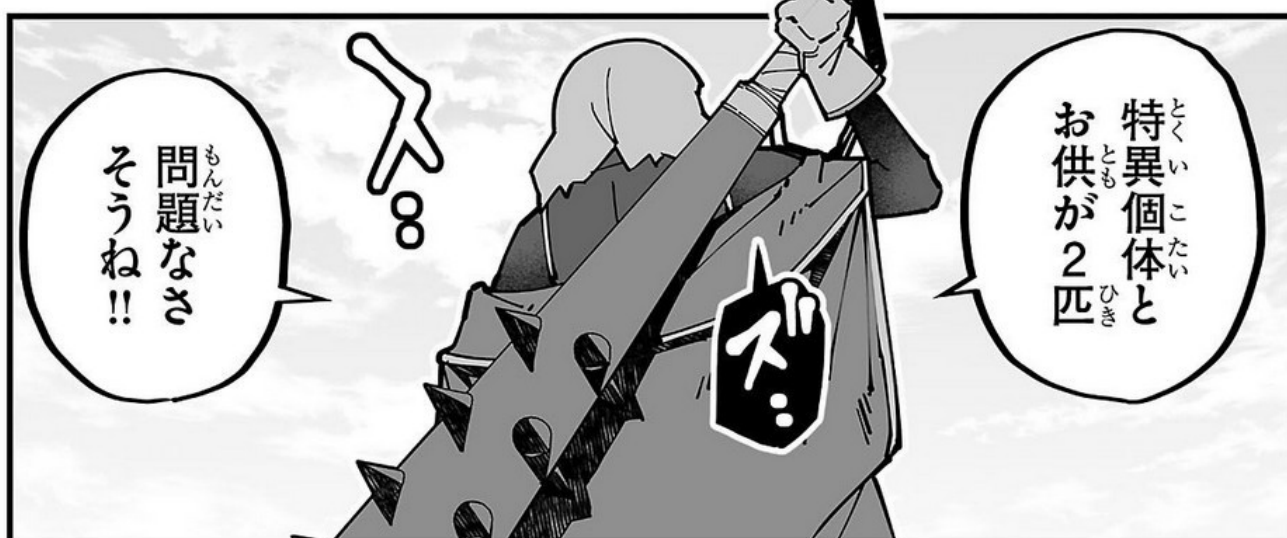
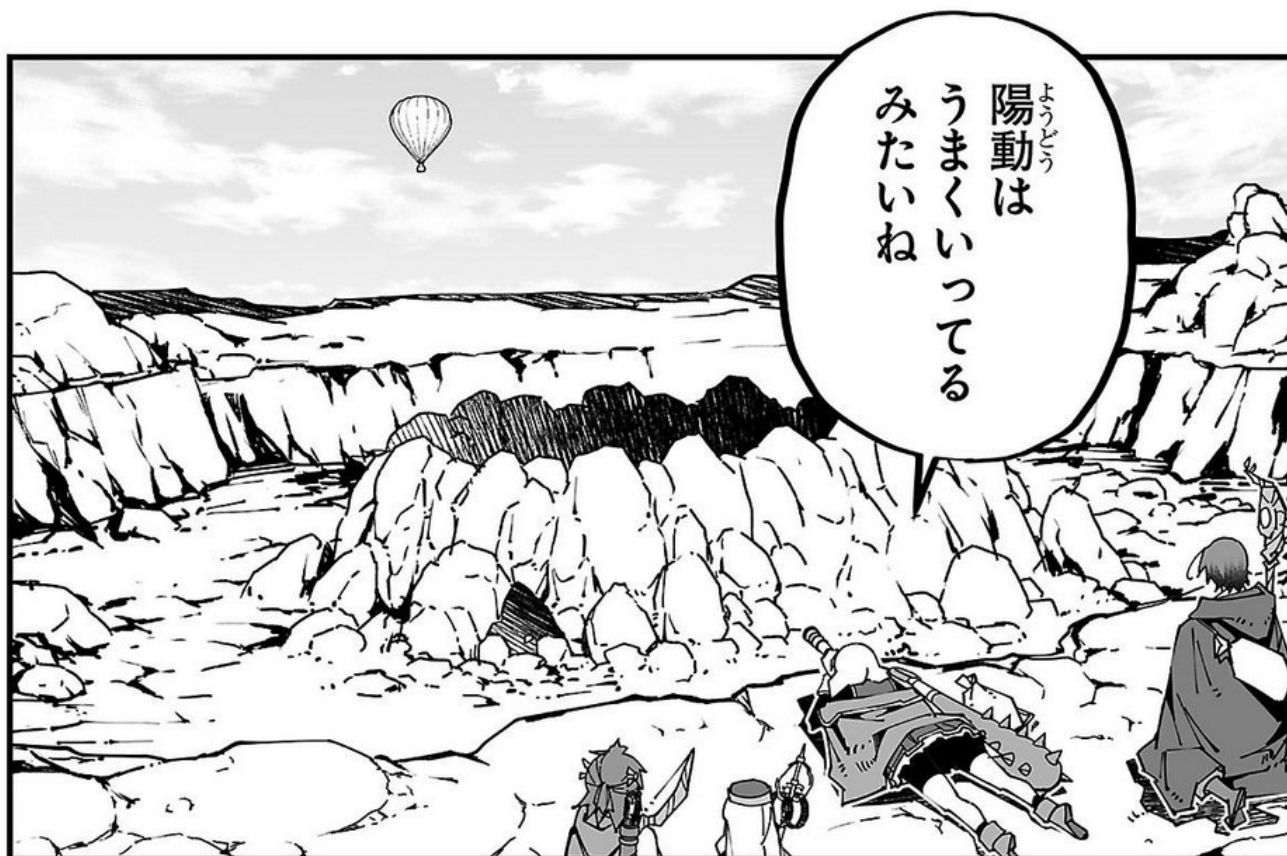


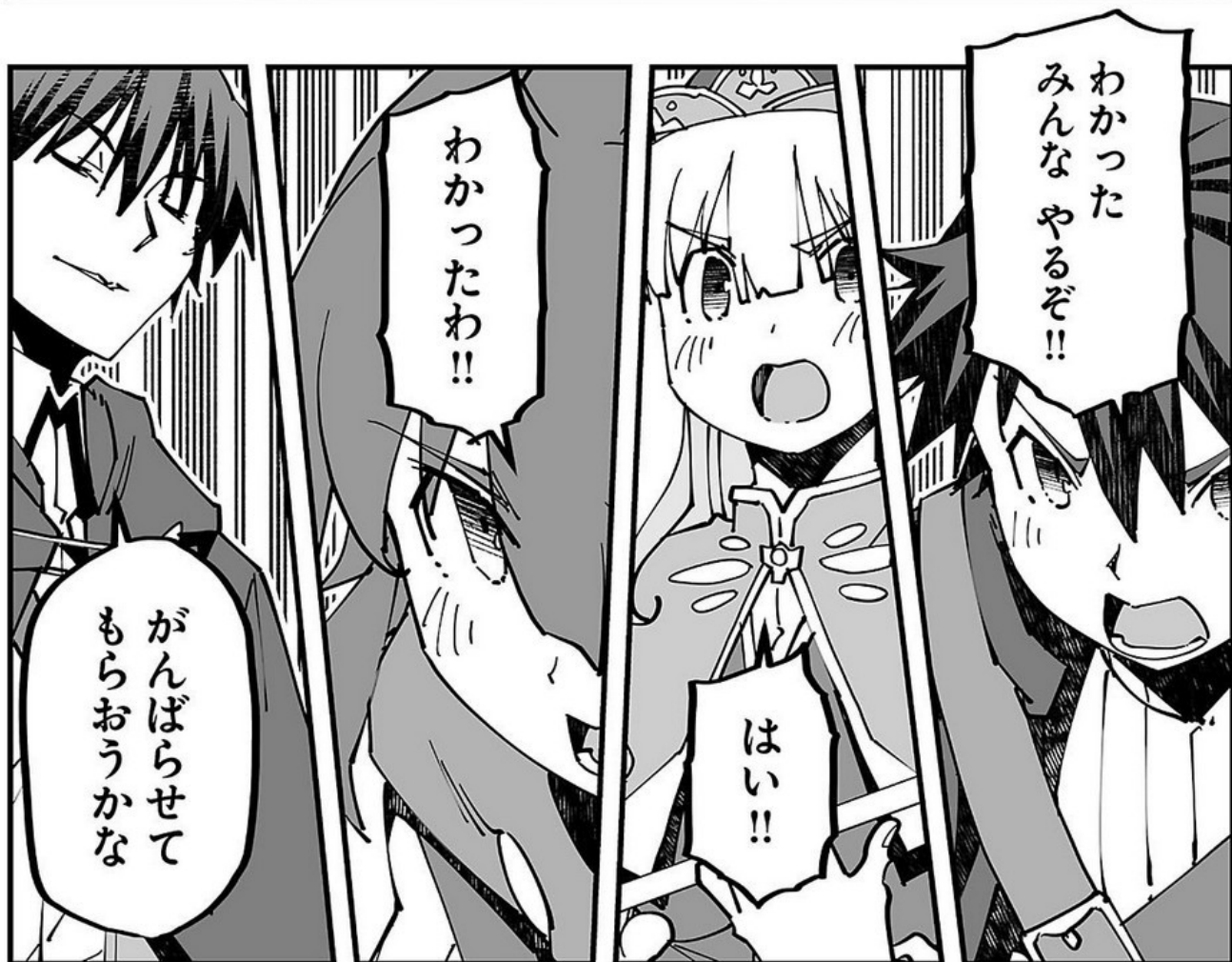




















ほのお
く
炎来るぞ!!



か お しょう せつ ばん がい へん
書き下ろし小説・番外編

しん ゆう とも だ
「親友と共に抱かれた
ご じつ だん
後日談」



まじかり

太陽が昇り始める明け方。修道服のアカネは、礼拝堂の堂内の床をモップで丁寧に磨く。町の郊外にある礼拝堂には日中多くの町民が訪れ、女神様への祈りを捧げるため、毎日の床掃除が欠かせない。

少し手を抜けば汚れは積み重なり、せつかく礼拝堂を訪れてくれた人に嫌な気持ちを与えてしまう。礼拝堂に併設された修道院で暮らすアカネは、少しでも恩に報いるべく清掃をする。

冷たい水で洗い、床を磨く作業の繰り返しは決して楽なものではないが、アカネは真面目に取り組んでいた。

「おはようございます、シスターアカネ」

「あ……おはようございます、神父様」

床磨きを終える頃、女神像の手入れ道具を携えた初老の神父が礼拝堂に姿を現わす。反射的に一瞬身を固くしてしまうが、彼女の口から悲鳴が出ることはなく、落ち着いた表情でアカネは挨拶を返す。

「ここに来た時よりずいぶんいい顔になりましたね。やはり持つべきはよき

友です。大切になさい」

「神父様……。はい、本当にそう思います」

穏やかに微笑んでうなづく神父の言葉で思い浮かぶのは、この町で再会したレンカの顔。冒険者活動の合間をぬって何度も来てくれた友人のおかげで、震えることなく男性と話せるようになったとアカネは思っている。もつとも、その方法はかなり荒療治であつたが。

礼拝堂に入った神父が女神像の清掃を始める中、アカネは礼拝堂の椅子を雑巾で拭き始める。掃除をしながらも会話は途ぎれず、何気ない話が続いた。やがて清掃が終わり、礼拝堂を出て別れる間際、アカネが修道院に身を寄せた事情を知り、立ち直りかけている彼女を見て彼は言う。

「この町でもよき友ができることを祈っていますよ」

「……はい。ありがとうございます」

それは辛い過去に頭が埋め尽くされていた時には響きようななかった言葉だが、今のアカネには正しく伝わった。

レンカたちが荒野の町に滞在しているのは、冒険者の階位を上げるため。

彼女たちが町を出てしまえば、友人らしい友人がいなくなってしまう。

前向きに生きるのはアカネにとって簡単なことではない。しかし立ち直りかけている彼女は、町の人ともっと交流してみてもいいかもしれないと思えるようになっていた。

(それもこれもレンカと……シンジさんのおかげ)

自室に戻ったアカネはベッドに横になる。彼女が思い浮かべるシンジの姿は全裸であり、自分に覆いかぶさっている時のもの。自然と顔が赤らみ、先日経験した濃厚な3Pを思い出してしまう。

今さらながらとんでもなく恥ずかしいことをしてしまったと思うものの、彼女に後悔はない。あの時は半信半疑どころか完全に空気に流されただけなのだが、結果的に男性が近づいても身体が震えてしまう症状はなくなり、小鬼に乱暴される悪夢を見なくなったのだから。

(あ……また私、濡れて……)

その代わり、彼女はシンジとまぐわう淫夢を見るようになっていた。それは彼が3Pのさなかでアカネに暗示をかけたからに他ならない。

激しい絶頂は心の隙間を作り、惚けている時ほど暗示は効きやすい。シンジはアカネが冷静になったあと、かえってトラウマが悪化しないよう彼女の無意識領域に細工をした。

それは小鬼^{こおに}の悪夢の代わりに淫夢を見る、という暗示である。アカネが壊れてしまえばレンカは責任を感じるだろう。それを阻止するためのケアであり、アカネのために暗示をかけたわけではない。

しかしそのおかげでこのところ彼女は毎晩シンジとやりまくる夢を見ており、ちよつと彼のことを思うだけで身体が自然と反応してしまいうようになっていた。

（だめだめ。シンジさんはレンカの恋人……なのよね？ エッチしているんだもの。真面目なレンカが恋人でもない人とするとは思えないし）

「性欲がすごいの！」と言いきった親友の過去を知るアカネからすれば、

シンジとの関係性を曖昧にしたまま肉体関係を持つとは思えない。当然ふたりは恋人同士なのだと推測する。

ゆえに親友の恋人を想って自慰にふけるようなはしたない真似をアカネができるはずもなく、悶々としてしまう。少し前まで男が怖く感じていた時を考えると、自分でも信じられない変化だった。

（私って結構単純なのかしら。怖くなくなっただけからってすぐこんな風になるなんて。……今まで気づかなかっただけで、私もレンカと一緒に性欲が強いタイプだったりするのかしら）

大きく息を吸って吐くを繰り返し、気持ちを落ち着けながら出ていかざるを得なかった故郷でのレンカとの思い出を振り返る。

アカネがレンカを親友と思うのは、同じ師匠の元で鍛錬を積み、多くの時間を共有したからに他ならない。レンカが〈駆ける狼〉の中で誰よりもアカネを気にかけているのも、彼女を大切な友人だと思っっているからだ。

レンカは弓、アカネは短剣と使う武器は違えども斥候役せっこうなのに変わりなく、

切磋琢磨せつさくたくました時間は長い。時に喧嘩けんかもしたが、包み隠さずものを言える仲でもある彼女たちは、年頃の娘にありがちな猥談わいだんだつてしたこともある。

もつともアカネに恋人はおらず、レンカもミリスと恋仲のアルヴィンへ思いを寄せていたため、同じ村に住む年上の既婚女性たちから聞いた話を基にただけなのだが。それでもきやあきやあと話し、非常に盛り上がったのを覚えていた。

その後、師の元を離れ、別々の冒険者パーティを組んで故郷を出てからも、アカネは男性経験を持たないままだった。彼女のパーティメンバーのひとりが密かにアカネを想っていたのだが、その思いが実る前に彼女たちのパーティは小鬼の巣で壊滅してしまう。

つまり今日に至るまで、アカネは自分の性欲について深く考える機会がなかったと言える。親友の痴態を見るだけでなく、流れで3Pまでしたのだから、自分も同じなのではと疑うのも仕方のないことだろう。

（うう、やっぱり落ち着かないわ。どうしてもあのことがチラついちゃう）

人生で最悪の出来事を上書きする、最高に刺激的な行為が幾度も脳内で再生され、アカネの頬がますます赤らむ。だめと思っけていても気持ちを抑えきれず、ゆつくりと右手が胸に、左手が股間部へと伸びていく。そして触れてしまう、という間際でアカネの部屋の扉がノックされ、彼女は慌ててベッドから飛び下りる。

「は、はい！ なにかありましたか!？」

「朝食の時間ですよ、シスターアカネ。貴女が来ないから呼びに来ました」

「もうそんな時間……!? も、申し訳ありません。すぐ参ります」

「清掃当番だからといって遅れてはなりません。次から気をつけてくださいね」

「はい……本当に申し訳ありませんでした」

シスターを束ねるマザーシスターの気配が遠ざかつていくのを感じ、扉越しに頭を下げていたアカネは、自分のふがいなさに深々とため息をつく。

「……ご飯を食べたら、おつとめがんばろう……」

奉仕活動に専念すれば邪念もなくなるだろう。そんな淡い期待が後に打ち破れるとは知らず、彼女は朝食を食べに部屋を出るのだった。



1日の活動を終え、自室に戻ったアカネは、月明かりが差し込む部屋のベッドの上でシーツを口に咥え、嬌声が漏れないようにしながら、両手で自分の胸を揉んでしまっていた。

彼女の格好はシンプルな白いワンピースの寝間着で、寝苦しくないようさらしを外したことで解放された大きな胸が押し上げている。

（我慢できない……っ♡ ん、気持ちいい……。でも、やっぱり物足りない……っ♡）

布越しが原因でないことは本人もわかっているが、少しでも快楽を得ようと、両腕を服の内側に引っ込め直に両手で触る。むにゅむにゅと乱暴ぎみに形を

歪める揉み方は、彼女の身に覚えがあるものをイメージしているのだが、彼の時ように気持ちよくならなかった。それでも衣服の上よりは気持ちがいい。アカネは夢中になつて自慰を続ける。

（んん……っ♡ 女神、様……。大切な友人の想い人を思い浮かべる私の浅ましさをお許しください……♡）

確かに教会の奉仕活動はアカネの煩悩を押さえ込んだ。町の住人たちと話し、孤児院の子供たちの世話をし、シスターたちと交流し、女神を讃える歌を唄う1日は、彼女の煩悩を意識させなかった。

しかし煩悩——いや、性欲がなくなるわけではない。ひととおりの活動を終えて自室に戻り、着替えをして寝る準備を整え、気を抜いた拍子にふと思いついてしまえば、元どおりどころか抑え込んでいた性欲を自覚し、身体が再び疼いてしまったのだ。

1日かけて溜まったムラムラを堪えられるはずもなく、アカネは女神様へ懺悔しながら自慰にふける。タガの外れた彼女は、レンカの恋人だと考えて

いるにもかかわらず、シンジの顔を思い浮かべていた。

覆いかぶさる彼の表情。大きな手で触れられる感触と快感。彼の熱い眼差しが乳房に注がれる感覚。次から次へと記憶を思い出しながら、彼女はさらに手を進める。

「ん♡ んっ♡ ふう、んう♡」

敏感な先端を指先でいじり、摘まみ、しごき上げる。シンジとレンカが絡み合うところを見ながら待つ間に彼から教えられた慰め方は、順番待ちの時に身体を昂らせ続けるためのもの。

無意識の内に彼女はうち太ももをすり合わせており、ショーツにはうつすらとシミができてしまっている。乳首をいじっているだけでジンジンと膣がうずくのは、アカネがひと晩かけて男というものを教え込まれたからに他ならなかった。

（シンジさん、シンジさん……っ♡ 気持ちいい、です♡）

シンジがどう触っていたのかを思い出しながら、アカネは開いた両脚のあ

いだに指を這わせる。お腹を伝ってショーツの下へと潜り込んだ指先で、大切なところをゆつくりとなぞれば、ゾクゾクと快感が背筋を駆け上がる。

指の動きが控えめだったのは最初の数往復だけで、アカネは無心のままに自慰を続ける。指が動くたびにいやらしい水音が部屋に響いてしまうが、彼女は気にすることなく没頭していた。

(ここっ♡ シンジさんが教えてくれたところっ♡ とつても敏感で、気持ちいいしょ♡)

思わず腰が跳ねてしまうほどの快感を得て、アカネの目尻に涙が浮かぶ。シンジが何度も触れたクリ○リスに自ら触れるともう手が止まらない。

「ふーっ♡ ふーっ♡ ふーっ♡」

絶頂をめがけてひたすら指を動かす彼女が思い浮かべるのは、自分の大切なところを舐め回す光景。あの時には及ばないが、それでも絶頂できるだけの快楽に腰をビクつかせる彼女は、いよいよその時を迎える間際に親友の顔を思い出す。

(レンカ、ごめんなさい……♡ 私、わたし……♡ シンジさんを思つて、イク♡ イっちゃう♡ イクのお♡)

今のアカネが思い浮かべるのは、教会に来て楽しく話をする明るいレンカではなく、共にベッドの上でシンジと絡み合った夜に見た女の表情をした彼女。自分の前でシンジを求め抱きつく姿であつたり、彼に組み伏せられて快楽を叩き込まれている姿だつたりと、快楽という名の幸福を共有した時の姿。共に抱かれたという事実が、彼女の罪悪感をわずかに軽くし、背徳感を快感へと変換する。そしていよいよその時が訪れた。

「っ、く♡ んんくくっ♡ ♡♡ ♡♡ ふうっ♡」

頭が真っ白になつてしまう快感が走り、アカネの腰がベッドから浮く。はいたままのショーツに大きなシミを作り、カクカクと腰を震わせていたが、絶頂が落ち着くとともに再びベッドへ腰が落ちる。

「は、は……♡ はあ、ああ……♡」

心地よい疲労を感じ、彼女の口から熱い吐息が漏れる。傍から見ればぼん

やりと天井を見ているように見えるが、実際は妄想の世界に浸りなにも見ていなかった。

しばらく経ち、アカネがのそのそとベッドから下りてクロークへと向かう。冷たくなり心地の悪いショーツを替え、改めてベッドに転がり直す彼女は、完全に正気を取り戻しており、頭から掛け布団をかぶってしまう。

（やつちやつたあああゝっ！ 私ったらなんてことを……レンカ、ごめんゝっ！）

彼女は知らない。レンカもまた3Pをした翌日には我に返り、なぜあんな恥ずかしいことをしてしまったのかと思い、アカネと同じように掛け布団にくるまってしまったことを。奇しくも親友と似たような行動をするアカネは、心の中で謝罪し続けるのであった。

寝取り魔法使いの冒険

4

初出

チャンピオンクロス 2024年9月～12月更新分

開始ッ!!

巨大劣竜を

あんたの
相手は
アタシよ!!

パーティランクを
中級上位から上級下位にランク
アップさせたい(駆ける狼)は
凄腕戦士・エミリーと共闘して
〈劣竜〉に立ち向かって...!?



エミリー バーサス VS 特異個体!!



次巻
予告

いざ戦闘



第5巻、**寝取り魔法使いの冒険**!!
第5巻、**寝取り魔法使いの冒険**!!



敵を砕け
岩弾
駆けろ狼
VS
2匹の劣竜!!

殲滅せよ!!

Netori Mahoutsukai no Bouken



「私……実は」

私とシンジの
○○○○○

見てみる？

「性欲が
すごいの!!!」



「小説家になろう」発、官能NTRファンタジー!!
他人の女を寝取って、寝取って、寝取り堕とせ!!
魔法使い・シンジに処女を捧げた女レンジャー・レンカは、
同郷の女冒険者・アカネの男性恐怖症を克服させたくて、
シンジとアカネにとんでもないプランを持ちかけて……!!
また、シンジの元パーティーメンバー・エミリー(戦士)は、
《劣竜》と一緒に討伐しようと《駆ける狼》を誘って……!!



寝取り 魔法使いの 冒険

原作…
まじかり
(オシリス文庫/KADOKAWA)
漫画…
糸杉 証宏
キャラクター原案…
まくわうに

4





ね と ま ほう つか ほう けん
寝取り魔法使いの冒険 4

2025年 2 月25日 初版発行

著 者 まじかり・原作
いと すぎ まさ ひろ
糸杉 証 宏・漫画

まくわうに・キャラクター原案
©MAZIKARI/MITOSUGI/MAKUWAUNI 2025

発 行 者 牧 内 真 一 郎
発 行 所 株式会社 秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326 販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373

印 刷 所 誠宏印刷株式会社
Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載)

ISBN978-4-253-32097-9

デジタル版 2025年発行
製作所 デジタルカタパルト株式会社
<https://www.digital-catapult.com>